

KENWOOD

I-K900

デジタルメディアレシーバー 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

本書を読まれる前に下記のボタンを押して、本書の仕様変更および更新版の有無を確認してください。



目次

- 7 はじめに
 - 7 安全上のご注意
 - 10 時計と日付を調整しよう
 - 12 本書の読みかた
 - 13 本機でできること
 - 14 ご使用の前に

16 まずはここから覚えてください

- 16 各部の名称とはたらき
- 18 共通の操作を覚えよう
 - 18 電源を入れてみよう
 - 18 音源を切り替えよう
 - 19 音量を調整しよう
 - 19 リアカメラを表示する
 - 20 メニュー画面を操作しよう
- 21 お好みの音源を聴いてみよう
 - 21 ラジオを聴くには
 - 21 USB機器の曲を聴く・観るには
 - 22 iPodを聴く・観るには
 - 22 内蔵メモリーの曲を聴く・観るには
 - 23 外部接続機器を聴くには

24 USB機器や内蔵メモリーのファイルを再生する

- 24 本機で使えるメディアとファイル
 - 25 USB機器を使うときは
- 27 ファイル再生中の画面表示
- 28 ファイルの再生機能に使うボタン
- 29 いろいろな機能を使って再生しよう
 - 29 リピート・スキャン・ランダム再生をする
 - 30 再生したいファイルを探す（ファイルサーチ）
 - 31 すばやくスクロールして探す（スキップサーチ）
 - 32 スライドショーモードで再生する（ピクチャーファイルのみ）
 - 32 壁紙を取り込む

34 内蔵メモリーにファイルをコピーする

- 34 内蔵メモリーについて
- 34 ファイルをコピーする
- 35 ファイルを削除する

37 iPodを聴く・観る

- 37 iPodについて
- 38 iPod再生中の画面表示
- 38 iPod再生中に使うボタン
- 39 いろいろな機能を使って再生しよう
 - 39 iPodの操作を本機またはiPod本体に切り替える
 - 40 リピート・ランダム再生をする
 - 40 リストから探す
 - 42 サーチモードで探す
 - 43 ジャンルと文字を選択して探す（ダイレクトサーチ）
 - 44 文字を入力して探す（イニシャルサーチ）
 - 45 関連する曲を探す（リレーティドサーチ）
 - 45 すばやくスクロールして探す（スキップサーチ）
 - 46 My Playlistを利用する
 - 47 iPodビデオの映像を外部モニターに出力する

48 ラジオを聴く

- 48 ラジオ受信中の画面表示
- 49 交通情報を聴く
- 50 ラジオを聴く
 - 50 受信バンドを選択する
 - 50 聴きたい放送局を自動で探す
 - 50 放送局を手動登録する
 - 51 放送局を自動登録する（オートメモリー）
 - 51 登録した放送局を呼び出す
 - 52 お気に入りの放送局を登録してワンタッチで呼び出す（Mixed Preset Memory）

54 Bluetoothオーディオの操作をする

- 54 使用できるBluetoothオーディオ機器
- 54 使用を始める前に
- 55 Bluetoothオーディオ再生中の画面表示
- 55 Bluetoothオーディオ再生中に使うボタン

56 ハンズフリー通話の操作をする

- 56 使用できるBluetooth対応携帯電話
- 56 使用を始める前に
- 57 Bluetooth機器を登録する
- 57 本機から登録する（ペアリング）
- 58 携帯電話から登録する（ペアリング）
- 59 携帯電話を利用する
- 59 電話をかける
- 59 電話番号を入力して電話をかける
- 60 登録した番号に電話をかける
- 61 電話帳を利用する
- 62 履歴から電話をかける
- 62 音声で電話をかける
- 63 電話帳のカテゴリ表示について
- 63 電話を受ける
- 63 通話を終了する
- 64 いろいろな操作

66 ディスクチェンジャーを聴く

- 66 ディスクの再生機能に使うボタン
- 66 いろいろな機能を使って再生しよう
- 67 リピート・スキャン・ランダム再生をする

68 テレビの操作をする

- 68 本機からテレビの操作をする
- 68 観たい放送局を探す
- 68 放送局を手動登録する
- 69 登録した放送局を呼び出す

70 本機の設定をする

70 ディスプレイの表示を設定しよう

- 72 全体の表示タイプを切り替える
- 73 アートワークの表示／非表示を切り替える
- 73 テキストの表示を切り替える
- 74 時計の表示タイプを切り替える
- 74 壁紙を切り替える
- 75 イルミネーション色を設定する
- 75 イルミネーション色を調整する

76 時計の設定を変更しよう

- 77 タイムゾーンを設定する

78 お好みの音質に設定しよう（オーディオコントロール）

- 82 イコライザーカーブを調整する
- 82 タイムアライメントの設定
- 83 クロスオーバーの設定をする
- 84 DSP設定を登録する
- 85 DSP設定を呼び出す

86 音源ごとに設定を変更しよう

88 Bluetoothの設定を変更しよう

- 90 接続するBluetooth機器を選択する
- 90 ショートメッセージ（SMS）をダウンロードする
- 91 ショートメッセージサービス（SMS）を利用する
- 92 電話帳にボイスタグを設定する
- 93 カテゴリのボイスタグを設定する
- 94 特殊なBluetooth機器を登録する
- 94 Bluetooth機器の登録を削除する
- 95 PINコードを登録する

96 初期設定を変更しよう

98 | リモコンを操作する

101 | こんなときは

- 101 困ったときに
 - 101 故障かな?と思ったら
 - 103 異常にお気づきのときは
 - 104 こんなメッセージが表示されたら
- 108 仕様
- 110 用語集
- 111 商標について
- 112 保証とアフターサービス (必ずお読みください)
- 112 保証について
- 112 修理を依頼されるときは
- 113 ケンウッド 全国サービス網

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

**注意**

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

**禁止**

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

**実施**

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

警告



実施

- 運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。
 - ・ カーオーディオの操作（音量調節、USB機器の接続・取り出しなど）



禁止

- 運転者は接続したモニターの映像を見ないでください。



警告

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



- USB機器とUSBケーブルは、運転に支障をきたさないような場所に固定してください。
- 以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- ・ 音が出ない
- ・ ディスプレイが表示されない
- ・ 異物が入った
- ・ 水がかかった
- ・ 煙が出る
- ・ 変な匂いがする



- 修理は必ず購入店、またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

- 本製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

注意



禁止

- 本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。
- 本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



実施

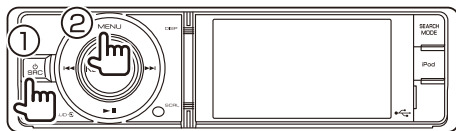
- 本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため〈お買い上げの販売店〉にご依頼ください。

時計と日付を調整しよう

本機をご使用になる前に、時計と日付を調整しましょう。

1

- ① **SRC** を押して電源を入れ、
 - ② **MENU** を押す
- メニュー画面が表示されます。*1



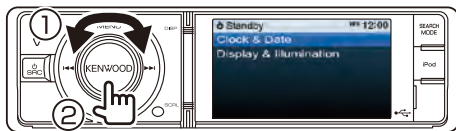
2

- ① ボリュームノブを回して **設定** を選択し、
- ② ボリュームノブを押す



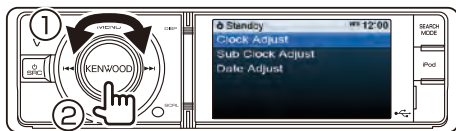
3

- ① ボリュームノブを回して **Clock & Date** を選択し、
- ② ボリュームノブを押す



4

- ① ボリュームノブを回して **Clock Adjust** を選択し、
- ② ボリュームノブを押す



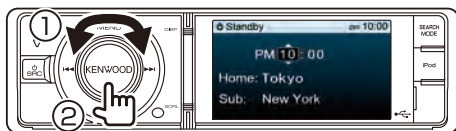
5

- ① ボリュームノブを回して時間表示を選択し、
- ② ボリュームノブを押す



6

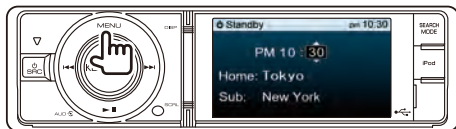
- ① ボリュームノブを回して「時」を調整し、
 - ② ボリュームノブを押す
- *時計は 12 時間制で表示されます。



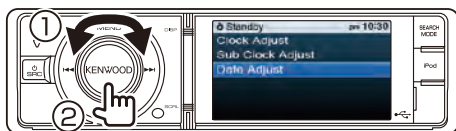
※1 電源を入れた直後に「To Cancel DEMO Press the volume knob」というメッセージが表示されたときは、「デモモードを解除する」(P.18)をご覧ください。

※2 **Clock Adjust** の「Home」、「Sub」項目の設定方法については、「時計の設定を変更しよう」(P.76)をご覧ください。

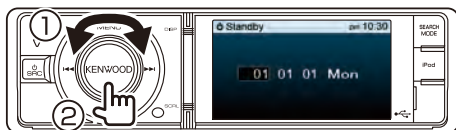
7 手順5および手順6と同様の手順で「分」を調整し、**MENU**を押す^{※2}



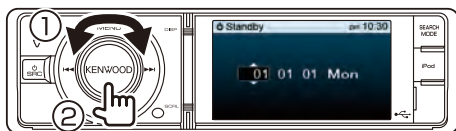
8 ① ボリュームノブを回して**Date Adjust**を選択し、
② ボリュームノブを押す



9 ① ボリュームノブを回して年表示を選択し、
② ボリュームノブを押す



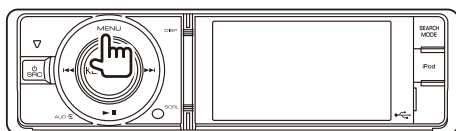
10 ① ボリュームノブを回して「年」を調整し、
② ボリュームノブを押す
※年は西暦で表示されます。



11 手順9および手順10と同様の手順で「月」、「日」を調整する
時計と日付が調整されました。



12 **MENU** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度**MENU** を押してメニューを終了する



本書の読みかた

この取扱説明書には、以下のようなイラストや表示が使用されています。
ここでは、それぞれの表示の意味をご紹介します。

「その操作でできること」をタイトルとして記載しています。目的の機能を探す目印としてお使いください。

対象ページ内で説明されている操作に必要なボタンを示しています。操作するボタンの位置確認にお役立てください。

ラジオを聴く

ボリュームノブ
以下のように操作します。
例) **List & Memory** を選択する
→ボリュームノブを回して **List & Memory** を
選択し、ボリュームノブを押して決定する。

受信バンドを選択する
FM、AMの受信バンドを選択します。
1 **SEARCH MODE** を押す
押すことに受信バンドが切り替わります。
聴きたい放送局を自動で探す
1 聴きたいバンドを選択する
操作方法は「受信バンドを選択する」
(P.35) をご覧ください。
2 **MEMO** または **MEMO** を押す
受信状態の良い放送局が自動で受信され
ます。
◆こんなときは…
・手動で周波数を合わせたい
→ P.60を参照して、「Seek Mode」
を「Manual」に設定し、**MEMO** ま
たは **MEMO** を押して周波数を合わ
せる。
MEMO
・付属のリモコンを使えば、周波数を入力
して直接聴きたい放送局を受信するこ
とができます。詳しくは「リモコンを操
作する」(P.70) をご覧ください。

放送局を手動登録する
受信している放送局を放送局リストに登録
できます。リストに登録すると、簡単に呼
び出すことができます。
1 お好みの放送局を受信する
2 **MEMO** を押す
3 **List & Memory** を選択する
放送局リストが表示されます。
4 登録する番号を選択して、ボ
リュームノブを2秒以上押す
選択したリスト番号に、受信中の放送
局が登録されます。
MEMO
・登録済みのリスト番号には上書きで登録
されます。

ラジオを聴く

IKSB 47

枠で囲んだ文字は、ディスプレイに表示される文字を表しています。

章の内容を表しています。

関連する機能・操作を紹介しています。

操作に必要な条件やできないことなどの、補足情報を記載しています。

MEMO

・本書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は、操作説明を円滑に行うための例です。そのため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本機でできること

I-K900でできることをご紹介します。
各機能の詳しい操作内容は参照先ページをご覧ください。

iPodを聴く・観る

- iPod、iPhoneの音楽や動画を再生できる！(P.22)
- たくさんのファイルから、再生したいファイルをすぐに見つける！(P.42)



USB 機器をつなぐ

- お手持ちの USB 機器に入っている音楽やビデオを再生できる！(P.21)
- USB 機器のファイルをコピーして、本機で再生できる！(P.34)
- 大量の曲も簡単に管理できる！(P.26)

※KENWOOD Music Editor Lightのインストールが必要です。



ラジオを聴く

- よく聴く放送局を登録できる！(P.50)
- ワンタッチで放送局を呼び出せる！(P.51)



Bluetoothを使う

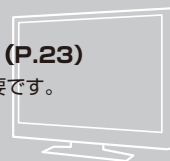
- ハンズフリー通話ができる！(P.56)
- Bluetooth オーディオが聴ける！(P.54)

※別売品の KCA-BT300または KCA-BT200が必要です。



ポータブルオーディオなどをつなぐ

- お手持ちのデジタルオーディオプレーヤーとつないで再生できる！(P.23)
※別売品のミニプラグケーブル(φ3.5 mm) (推奨品「CA-08MP」) が必要です。
- TV とつないで本機で操作できる！(P.68)



ご使用の前に

本機を使用していただくうえで、知っておいていただきたいことです。

デモモードについて

本機をはじめてお使いになるときや、本機をリセット(P.103)した後は、本機はデモモードに設定されています。

ご使用の前にデモモードを解除してください。デモモードを解除する方法については、「**デモモードを解除する**」(P.18)をご覧ください。

表示できる文字について

本機で表示できる文字は、シフトJISです。

本機に接続できるシステムについて

- 本機には、2002年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー、Bluetoothユニット、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムが接続できます。接続できるディスクチェンジャー、Bluetoothユニット、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムの機種名はカタログをご覧ください。
- 「O-Nスイッチ」の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは「N」側に設定してください。
- 接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。
- 別売品のオートチェンジャー切替ユニット「KCA-S220A」を使用すると、ディスクチェンジャーなどを合計2台まで接続できます。接続などの詳しい説明はクイックスタートガイドおよび、KCA-S220Aに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機およびKCA-S220Aには2001年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー/CDプレーヤー、および他社製のディスクチェンジャーは接続できません。接続すると、破損や故障の原因となります。

使用できるリモコンについて

本機にはリモコン(RC-405J)が同梱されています。別売品で使用できるリモコンについては、カタログをご覧になるか、購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

お手入れについて

本機の操作パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。

また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、音源をラジオにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

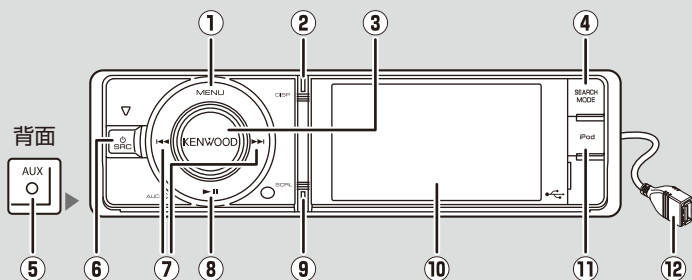
天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送、交通情報以外の音源に切り替えてください。

お気をつけください

USB機器やiPod/iPhoneを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USB機器やiPod/iPhoneが変形または故障する場合があります。




MEMO

各部の名称とはたらき



■各ボタンの機能

番号	名称	動作
①	メニューボタン MENU	<ul style="list-style-type: none"> ファイルの選択や各機能の設定を行います。(P.20) 設定操作中、1つ前の項目に戻ります。(P.20) 1秒以上押しすと、第1階層まで戻ります。(P.20) ファイル選択時は、1つ上のフォルダに戻ります。
②	ディスプレイボタン DISP	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイの表示を切り替えます。(P.72) リストのページスクロールを行います。(P.30、P.31、P.41、P.45)
③	ボリュームノブ	<ul style="list-style-type: none"> 左右に回して、音量を調節します。(P.19) 設定操作時に、左右に回して項目を選択し、押ししてその項目の設定を決定します。(P.20) ファイルの検索中に押しして、選択したファイルやフォルダを決定します。(P.30、P.40) 1秒以上押しすと、音声認識モードになります。* (P.62)
④	サーチボタン SEARCH MODE	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ受信時に、バンドを選択します。(P.50) iPod再生時に、曲やビデオを検索します。(P.42) ファイル再生時に、次のフォルダに進めます。(P.28)
⑤	AUX端子 (背面)	ポータブルオーディオ機器などの外部機器を接続します。(P.23)
⑥	ソースボタン SRC	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源をオンします。1秒以上押しすと、本機の電源をオフします。(P.18) ラジオやUSB機器などの音源を切り替えます。(P.18)
⑦	シークボタン ◀▶	<ul style="list-style-type: none"> ラジオの周波数を切り替えます。(P.50) ビデオ・オーディオファイル： <ul style="list-style-type: none"> ◀ を1回押しすと、再生中のファイルを先頭から再生します。 2回押しすと、1つ前のファイルを再生します。 ピクチャーファイル： <ul style="list-style-type: none"> ◀ を押しすと、1つ前のファイルを再生します。 ▶ を押しすと、1つ後のファイルを再生します。 押し続けると、早戻し/早送りします。

番号	名称	動作
⑧	再生／一時停止ボタン 	<ul style="list-style-type: none"> ビデオやオーディオファイル、iPodの再生／一時停止をします。 2秒以上押すと、USB機器やiPodの取り外しモードになります。(P.21、P.22)
⑨	スクロールボタン 	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイの文字表示をスクロールします。 リストのページスクロールを行います。(P.30、P.31、P.41、P.45)
⑩	ディスプレイ	ビデオや時計、再生中の曲の情報など、本機の動作内容を表示します。
⑪	iPodボタン 	<ul style="list-style-type: none"> iPod以外の音源のときに押すと音源をiPodに切り替えます。 音源がiPodのときはボタンを押すごとに、本機からのみ操作できるHANDS OFFモードと、iPod/iPhoneから操作できるHANDSONモードの2つのモードを切り替えます。 1秒以上押すと、Bluetoothモードになります。* (P.59)
⑫	USB端子	USB機器／iPodを接続します。(P.21、P.22)

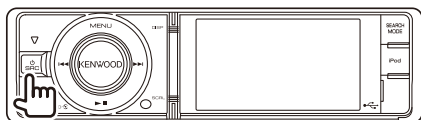
※ 別売品の「KCA-BT300」または「KCA-BT200」接続時に操作できます。

共通の操作を覚えよう

電源を入れてみよう

まずは本機の電源を入れてみましょう。

1 SRC を押す



本機の電源がオンになります。

SRC を1秒以上押すと、本機の電源がオフになります。

デモモードを解除する

本機をはじめてお使いになるときや、本機をリセット(P.103)した後は、本機はデモモードに設定されています。

電源を入れると“To Cancel DEMO Press the volume knob”と表示されますので、以下の操作を行って、ご使用前にデモモードを解除してください。

1 メッセージが表示されている間にボリュームノブを押す

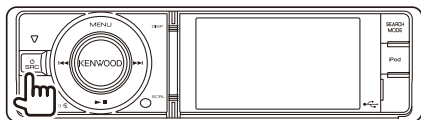
2 ボリュームノブを回して [YES] を選択し、ボリュームノブを押す

MEMO

- デモモード解除のメッセージは、約15秒間表示されます。
- メッセージが消えた後にデモモードを解除するときは、**MENU** ボタンを押し、ボリュームノブを回して「DEMO Mode」を選択して、ボリュームノブを押してください。
- デモモードでは一定時間操作をしないと、デモ表示がはじまります。デモ表示は操作イメージであり実際の動作と異なる場合があります。

音源を切り替えよう

1 聴きたい音源が表示されるまで **SRC** を数回押す



ディスプレイの表示は以下の音源を示しています。

- STANDBY** : 何も再生していない状態
- TUNER** : ラジオ
- USB** : USB機器
- iPod** : iPod、iPhone
- Int.Mem.** : 内蔵メモリー
- TV** : LX-BUS接続したテレビ(別売品)
- CD CH** など: ディスクチェンジャーなどの外部プレーヤー (別売品)
- AUX** : 内部AUX
- AUX EXT** : 外部AUX (別売品)

MEMO

- 「Initial Settings」(P.96) で「Source Select」を「2」に設定している場合は、**SRC** を押したあと、ボリュームノブを回して音源を選び、ボリュームノブを押すと音源が切り替わります。
- iPodの接続が認識されると、画面の表示は「USB」から「iPod」に変わります。
- 外部プレーヤーを選択時は次のように表示されます。
 - CD CH : ディスクチェンジャー
 - EXTRA : KCA-iP501 (別売品) で接続したiPod
 - HDD EXT : HDX-710などの音楽ファイル (KSF)
- LX-BUS接続したテレビでは、USB (iPod)、内蔵メモリー音源はCDとして認識され、表示や音声案内もCDとして扱われます。

音量を調整しよう

1 オーディオ再生中にボリュームノブを回す

右に回すと音量が大きくなり、左に回すと音量が小さくなります。



MEMO

- メニュー画面を表示中は音量を調整できません。メニュー画面を終了してください。

リアカメラを表示する

別売のリアビューカメラが必要です。

1 車両のセレクトレバーをリバースにする

リアカメラの映像が表示されます。

リアカメラの映像を消す

1 ボリュームノブを回す以外のボタンを押す

リアカメラの映像は消えます。

MEMO

- リアカメラの映像を表示するには、**「Initial Settings」(P.97)** の “R-CAM Interruption” 項目を “ON” に設定している必要があります。
- ハンズフリー通話中はリアカメラの映像に切り替わりません。
- リアカメラの映像を消したあと、再度表示させる場合は、セレクトレバーをリバースに入れ直してください。



注意

- 運転は必ず目視で周囲の安全を確認してから行ってください。

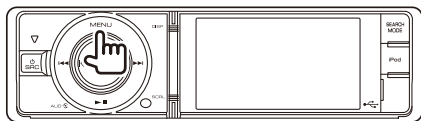
まずはここから覚えてください

メニュー画面を操作しよう

本機では、音源ごとの設定をメニュー画面から行います。ここでは、メニュー画面の操作方法について説明します。

1 MENU を押す

メニュー画面が表示されます。



MEMO

- 選択している音源により、設定できる項目は異なります。

2 ボリュームノブを回して項目を選択する

選択している項目が移動します。

例：iPodの設定画面



3 ボリュームノブを押して、選択した項目を決定する



MEMO

- メニュー画面以外のリスト表示画面でも、選択・決定の操作方法は同様です。
- 1つ前の階層に戻るときは、**MENU** を押します。
MENU を1秒以上押すと、メニュー画面(第1階層)に戻ります。

本文中の表記について

P.24からの各機能の操作説明では、手順2および手順3のボリュームノブの操作をまとめて「**選択する**」と表記しています。

例えば、「**ミュージック** を**選択する**」という説明は、ボリュームノブを回して画面中の**ミュージック** を選択し、ボリュームノブを押して決定する操作を示します。

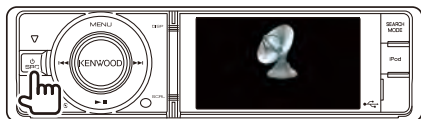
お好みの音源を聴いてみよう

本機で聴けるそれぞれの音源の基本操作について説明します。

ラジオを聴くには

- 1 **[SRC]** を数回押し、**[TUNER]** を選択する

ラジオが受信されます。



● こんなときは… ●

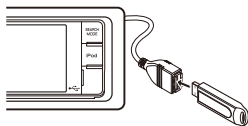
- ・バンドを変えたい → P.50
- ・聴きたい放送局を探す → P.50

USB機器の曲を聴く・観るには

USB機器を接続する

- 1 USB機器を、奥まで確実にUSB端子に差し込む

USB機器内のファイルが再生されます。



📖 MEMO

- ・USBケーブルを延長するときは、CA-U1EX（別売品：最大電流500 mA）の使用を推奨します。
- ・USBハブやマルチカードリーダーを接続して、複数のUSB機器やメモリーカードを接続することもできます。（P.25）

● こんなときは… ●

- ・再生機能を変えたい → P.29
- ・すでに接続されているUSB機器を再生したい → **[SRC]** を数回押し、**[USB]** を選択します。
- ・再生できるファイルの種類を知りたい → P.24
- ・複数接続されているUSB機器を切り替えたい → P.25

USB機器を取り外す

- 1 ディスプレイに **[USB REMOVE]** とインジケータが点滅するまで、**[▶||]** を2秒以上押す



2 USB機器を取り外す

📖 MEMO

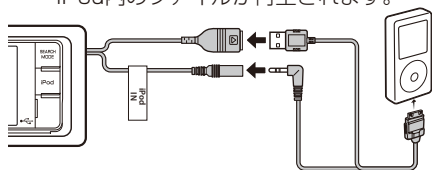
- ・充電式USB機器の場合、接続中に充電されます。（本機の電源オン時のみ）
- ・この操作を行わずにUSB機器を取り外すと、USB機器内のデータが破損する場合があります。

iPodを聴く・観るには

iPodを接続する

- 1 付属のiPod接続ケーブルでiPodを確実に接続する

iPod内のファイルが再生されます。



● こんなときは… ●

- ・再生機能を変えたい → P.40
- ・すでに接続されているiPodを再生したい → **iPod** を押す。
- ・iPod内の曲を選びたい → P.40

iPodを取り外す

- 1 ディスプレイに **USB REMOVE** とインジケーターが点滅するまで、**▶ ||** を2秒以上押す



2 iPodを取り外す

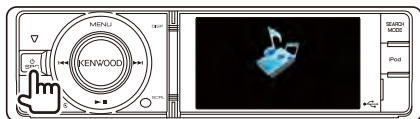
MEMO

- ・iPod接続中は、iPodが充電されます。(本機の電源オン時のみ)
- ・この操作を行わずにiPodを取り外すと、iPod内のデータが破損する場合があります。
- ・iPod接続ケーブルはUSBケーブルで延長しないでください。

内蔵メモリーの曲を聴く・観るには

- 1 **SRC** を数回押し、**Int.Mem.** を選択する

内蔵メモリー内のファイルが再生されます。



MEMO

- ・内蔵メモリーのファイルを再生するには、USB機器からファイルをコピーする必要があります。

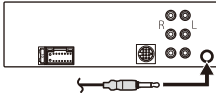
● こんなときは… ●

- ・再生機能を変えたい → P.29
- ・再生するファイルを選びたい → P.30
- ・内蔵メモリーにファイルをコピーしたい → P.34
- ・内蔵メモリーからファイルを削除したい → P.35

外部接続機器を聴くには

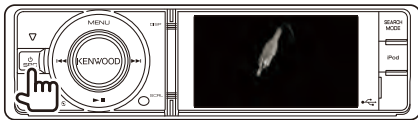
別売品のミニプラグケーブル（φ3.5 mm）（推奨品「CA-08MP」）が必要です。

- 1 AUX端子に「CA-08MP」を差し込む



- 2 ケーブルをお手持ちの外部機器のヘッドホン端子に接続する

- 3 **[SRC]** を数回押し、**[AUX]** を選択する



- 4 外部機器を再生する

外部機器が本機から再生されます。

● こんなときは… ●

- すでに接続されている外部機器を聴きたい → **[SRC]** を数回押し、**[AUX]** を選択します。

MEMO

- 内部AUX音源に切り替えるには、「**Initial Settings**」(P.96)の“Built in AUX”項目を“ON”に設定する必要があります。
- 外部AUX（AUX EXT）を使用するためには、別売品のKCA-S220A、CA-C1AXまたはCA-C2AXが必要です。
- “AUX”表示やKCA-S220Aを使用した“AUX EXT”表示は変更することができません。(P.86)



USB機器や内蔵メモリーのファイルを再生する

本機で使えるメディアとファイル

本機で使用できるメディアやファイルの種類、使用できる接続機器は以下のとおりです。

オーディオファイル	AAC-LC (.m4a)、MP3 (.mp3)、WMA (.wma)、Linear PCM (WAV) (.wav) ※アルバムアート MP3 ID3 V2.3 : JPEG (最大500KB)
ビデオファイル	H.264/MPEG-4 AVC (.mp4、.avi : ベースラインプロファイル)、 MPEG-4 (.mp4、.avi : シンプルプロファイル)、WMV 9 (.wmv) ※解像度 推奨 : 320×240 (QVGA)、最小 : 160×120
ピクチャーファイル	JPEG (.jpg)、BMP (.bmp)
USB機器	USBマスタストレージクラス
USB機器ファイル フォーマット	FAT16、FAT32

(2011年4月現在)

再生できるファイルには制限があります。

詳しくはオンラインマニュアルwww.kenwood.com/cs/ce/audiofile/をご覧ください。

MEMO

- 上記の規格に準拠したファイルであっても、メディアおよび機器の種類やコンディションによっては、正常に再生されない場合があります。
- ファイルは、あらかじめバックアップを行っておいてください。USB機器の使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしませんのでご了承ください。
- 内蔵メモリーのファイルを再生するには、あらかじめUSB機器からファイルをコピーする必要があります。詳しくは「**内蔵メモリーにファイルをコピーする**」(P.34)をご覧ください。



USB機器を使うときは

本書で断りの無い限り、「USB機器」とはUSB端子のあるフラッシュメモリおよびデジタルオーディオプレーヤーを指します。USB機器を使うときは、以下のお知らせをよく読んでからご使用ください。

USBハブ・マルチカードリーダーについて

本機では、USBハブやマルチカードリーダーを使って、複数のUSB機器やメモリーカードを同時に接続することができます。

USBハブやマルチカードリーダーを使用した場合、USB音源を選択したときには接続されたUSB機器のうちの1つが表示されます。USB機器やメモリーカードを切り替えるときは、以下の操作を行います。

●USB機器を選択する

1 **MENU** を押す

2 **Port Up** を選択する

USB機器が切り替わります。目的のUSB機器に切り替わるまで、この操作を繰り返してください。

●メモリーカードを選択する

1 **MENU** を押す

2 **Drive Select** を選択する

メモリーカードのリストが表示されます。

メモリーカードは“Drive (数字)”で表示されます。選択できるメモリーカードの数は、お使いのマルチカードリーダーによって異なります。

3 再生したいファイルのあるメモリーカードを選択する

MEMO

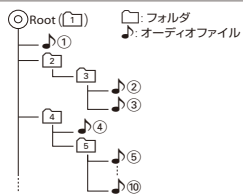
- USBハブに接続されたUSB機器は、3ポートまで認識できます。4ポート以上のUSBハブを使用した場合は、その中の3ポートまでが認識されます。
- USBハブを2台以上接続しないでください。USB機器が正しく認識できなくなります。
- USBハブに接続できるiPodは1台のみです。
- USBハブに接続したiPodでは充電できない場合があります。
- マルチカードリーダーは本機に直接接続してください。USBハブを使用して接続した場合は、正常に動作しません。
- USBハブに同じ型番のUSBデバイスを複数接続するとレジューム再生ができません。



USB機器や内蔵メモリーのファイルを再生する

ファイルの再生順序

ファイルは、ファイル名順に再生されます。
複数のフォルダがある場合は、右図のように再生されます。
(右図の例では、①から⑩の順で再生されます。)
ビデオ、ピクチャーファイルも同様です。



MEMO

- ファイル名の最初に“01”や“99”などの番号を付けると、再生順序を指定できます。
- フォルダ内にビデオやオーディオファイルが混在している場合、現在再生中のファイルと同じ種類のファイルが順番に再生されます。▶▶、◀◀を押した場合も同様です。
- 思った通りの順番で再生されない場合は、KENWOOD Music Editor Light ver.1.1（下記）を使用してデータベースを作成することをお勧めします。（オーディオファイルのみ）

KENWOOD Music Editorについて

KENWOOD Music Editorとは、USB機器に入っている曲の選択操作を便利にするためのPCアプリケーションです。本機は、“KENWOOD Music Editor Light ver.1.1”に対応しています。“KENWOOD Music Editor Light ver.1.1”を使用すると、オーディオファイルにデータベースを付加することで、タイトル・アルバム名・アーティスト名などでの検索が可能になります。“KENWOOD Music Editor Light ver.1.1”は、www.kenwood.co.jp/faq/からダウンロードできます。

アプリケーションの詳しい情報は、サイトまたはアプリケーションのヘルプをご覧ください。



ファイル再生中の画面表示

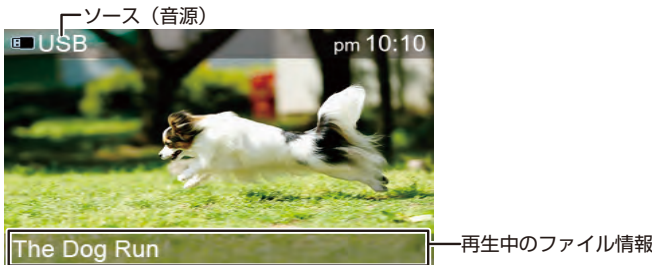
ファイル再生中の画面表示について説明します。

●オーディオファイル再生中の画面表示



※画面例は初期表示状態のものです。

●ビデオ・ピクチャーファイル再生中の画面表示



※画面例は初期表示状態のものです。

MEMO









- **[DISP]** を押すごとに、ディスプレイの表示を時計表示などに変更することができます。(ビデオ・オーディオファイル再生中のみ) 詳しくは「**全体の表示タイプを切り替える**」(P.72)をご覧ください。
- ビデオ・ピクチャーファイル再生中の画面表示 (ソースやファイル情報など) は、10秒経過すると消えます。もう一度表示したいときは、**[SCRL]** を1秒以上押します。
- 走行中は安全のため、ビデオファイルの映像は表示できません。車両を停止してパーキングブレーキがかかると表示できます。

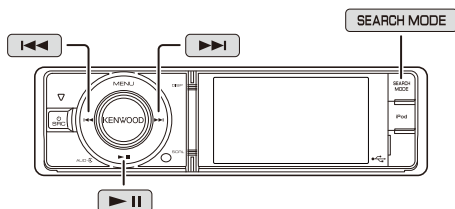


ファイルの再生機能に使うボタン



再生・停止などの操作に使用するボタンについて説明します。
ファイルの検索など通常再生以外に使用するボタンについては、次ページからの説明をご覧ください。

ビデオ・オーディオファイル再生時


- 一時停止する→  を押す
- 一時停止から再生する→  を押す
- 早送りする→  を押し続ける
- 早戻しする→  を押し続ける
- ファイルの先頭に戻る→  を押す
- 次のファイルを再生する→  を押す
- 次のフォルダに進む→  を押す
- 前のファイルを再生する→  を2回押す



ピクチャーファイル再生時

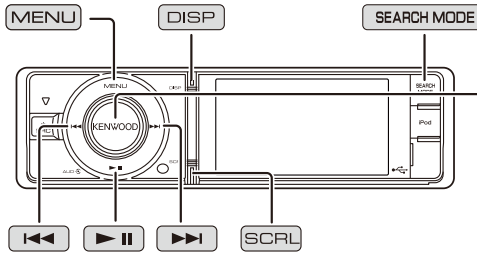
- 次のファイルを再生する→  を押す
- 前のファイルを再生する→  を押す

MEMO

- ・ビデオおよびオーディオファイルの早送り／早戻し中には音声が出ません。
- ・再生可能なファイルが入っていないフォルダは選択できません。
- ・オーディオファイルを再生中にピクチャーファイルを選択すると、オーディオファイルの再生は継続されますが、操作はできません。オーディオファイル进行操作の場合は、 を押してピクチャーファイルの表示を中止してください。
- ・ビデオを再生中にピクチャーファイルを選択すると、ビデオの再生が停止します。
- ・ビデオファイルの映像は本機のみで表示されます。iPod映像出力端子では表示できません。



いろいろな機能を使って再生しよう



ボリュームノブ

以下のように操作します。

例) **Play Mode** を選択する

→ボリュームノブを回して**Play Mode**を選択し、ボリュームノブを押し決定する。

リピート・スキャン・ランダム再生をする

フォルダ内の曲やビデオを繰り返し再生したり、順不同に再生します。

また、スキャン再生を行うと、フォルダ内の各ファイルを先頭から10秒間ずつ再生します。聴きたい曲などを探すときに便利です。

MEMO

- ピクチャーファイルはリピート・スキャン・ランダム再生はできません。再生モードを変更すると、ピクチャーファイル表示中に再生されているオーディオファイルに適用されます。
- File Scanですべてのファイルがスキャン再生されると、自動的に終了します。

1 **MENU** を押す

2 **Play Mode** を選択する

3 設定項目を選択する

ボリュームノブを押すと項目にチェックが付き、再生設定がオンになります。ボリュームノブを押すたびに、オン/オフが切り替わります。

設定項目	機能
File Scan (表示: SCAN)	フォルダ内の各ファイルの最初の部分を10秒間ずつ再生します。
Folder Random (表示: Fo・RDM)	フォルダ内のファイルをランダムな順番で再生します。
All Random* (表示: ALL・RDM)	すべてのファイルをランダムな順番で再生します。
File Repeat (表示: Fi・REP)	再生中のファイルを繰り返し再生します。
Folder Repeat* (表示: Fo・REP)	再生中のフォルダのファイルを繰り返し再生します。

* KENWOOD Music Editorを使用して作成したデータでは選択できません。

4 **MENU** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押し終了する

♪ こんなときは…

- スキャン再生を中止する
→ **▶||** を押すか、手順1から4を繰り返して設定をOFFにする。
- ランダム再生を中止する
→手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。
- リピート再生を中止する
→手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。



再生したいファイルを探す (ファイルサーチ)

ファイルをリスト表示にして探します。

MEMO

- 付属のリモコンを使って、ファイル番号またはトラック番号で直接ファイルを再生することができます。詳しくは「リモコンを操作する」(P.98)をご覧ください。

1 **MENU** を押す

2 **USB List** を選択する

3 再生したいファイルを選択する

動作	操作
フォルダ、ファイル表示の切り替え	ボリュームノブを回します。
表示フォルダの選択または表示ファイルの再生	ボリュームノブを押します。
1つ上の階層に戻る	MENU を押します。
リストのページスクロール	DISP または SCRL を押します。
リストの連続スクロール	DISP または SCRL を1秒以上押します。 もう一度 DISP または SCRL を押すか、ボリュームノブを回すと停止します。

♪ こんなときは…

- ファイルサーチを中止する
→ **MENU** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押す。

MEMO

- KENWOOD Music Editor Light ver1.1を使用してオーディオファイルのデータベースを作成している場合は、タイトル・アルバム名・アーティスト名などのフォルダが表示されます。
- フォルダ名やファイル名の横に「▶」が表示されている場合は、下位階層のフォルダやファイルがあることを示しています。
- オーディオファイル再生中は、**SEARCH MODE** を押すと、フォルダを1つ先へ進めることができます。
- ファイルサーチでファイルを検索すると、そのファイルのある階層が本機に記憶されます。ファイルを検索した後に本機の設定を行う場合、**MENU** を押すと記憶された階層が表示されてしまいますので、一度 **MENU** を1秒以上押して第1階層に移動してから設定を行ってください。



すばやくスクロールして探す (スキップサーチ)

選択しているリスト項目のファイル数に応じて、すばやくスクロールしてファイルを検索します。

MEMO

• この操作は、KENWOOD Music Editor Light を使用して作成したデータを、USBで再生している場合のみ行えます。

- 1 **MENU** を押す
- 2 **ミュージック** を選択する
- 3 再生したいファイルのリストを選択する
- 4 **SEARCH MODE** を押す
- 5 **DISP** または **SCRL** を押して再生したいファイルを探す

MEMO

- 3秒以上 **DISP** または **SCRL** を押し続けると、設定に関係なく10%の割合でファイルをスキップして表示します。例えば選択したリスト内のファイルが100ファイルの場合、10ファイルずつスキップします。
- ファイルをスキップする割合は、**▶▶**、**◀◀** で変更できます。
- スキップの割合について詳しくは、「音源ごとに設定を変更しよう」(P.87)の“Skip Search”項目をご覧ください。

- 6 再生したいファイルを選択する
ファイルを選択するとサーチモードが解除され、再生が始まります。

♪ こんなときは…

- サーチモードを中止する
→ **SEARCH MODE** を押す。



スライドショーモードで再生する (ピクチャーファイルのみ)

USB機器や内蔵メモリーのピクチャーファイルを5秒ごとに自動的に切り替えながら表示します。

1 ピクチャーファイル再生中に
[MENU] を押す

2 **[Slide]** を選択する

3 **[START]** を選択する
スライドショーが始まります。

♪ こんなときは…

- スライドショーを中止する
→ 手順1～2を繰り返して設定を「STOP」にする

📖 MEMO

- スライドショーの再生中は、壁紙を取り込むことができません。スライドショーを中止してください。
- 走行中はスライドショーを表示できません。車両を安全な場所に停止して、パーキングブレーキをかけると表示できます。

壁紙を取り込む

USB機器や内蔵メモリーのピクチャーファイルをオーディオファイル再生画面の壁紙として本機に取り込むことができます。取り込んだ壁紙を表示する方法については、「壁紙を切り替える」(P.74)をご覧ください。

1 壁紙に設定したいピクチャーファイルを選択する
ファイルの探しかたについては、「再生したいファイルを探す(ファイルサーチ)」(P.30)をご覧ください。

2 **[MENU]** を押す

3 **[Save as Wallpaper]** を選択する

4 **[MENU]** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **[MENU]** を押し
て終了する

📖 MEMO

- スライドショーの再生中は、壁紙を取り込むことができません。スライドショーを中止してください。
- 新しい壁紙を取り込むと、以前に取り込んでいた壁紙は上書きされます。
- 取り込んだ壁紙を削除することはできません。ただし、本機をリセット(P.103)すると壁紙が消えます。





内蔵メモリーにファイルをコピーする

内蔵メモリーについて

USB機器からビデオ・オーディオ・ピクチャーファイルを本機の内蔵メモリーにコピーして再生できます。

ファイルの再生方法や画面表示については「USB機器や内蔵メモリーのファイルを再生する」(P.24) をご覧ください。

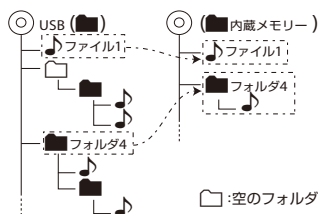
内蔵メモリー容量：512 MB (Built-in Flash Memory)

MEMO

- USB機器によってはファイルがコピーできないことがあります。
- KENWOOD Music Editorで作成したファイルは通常のファイルとしてコピーされます。スキップサーチなど、KENWOOD Music Editorを使った検索機能は使用できません。
- 内蔵メモリーにコピーしたファイルやフォルダを他のUSB機器にコピーすることはできません。

ファイルをコピーする

USB機器から内蔵メモリーにフォルダまたはファイルをコピーします。コピーは下図のように行われます。



1 USB音源を再生中に **[MENU]** を押す

2 **[Copy from USB]** を選択する

3 コピーしたいファイルまたはフォルダを選択する
ファイルの探しかたについては、「再生したいファイルを探す (ファイルサーチ)」(P.30) をご覧ください。

4 ボリュームノブを3秒以上押す

5 **[OK]** を選択する
コピーが完了すると“Complete”と表示されます。
続けてコピーする場合は「NEXT」を選択し、手順3からの操作を繰り返してください。
コピーを終了する場合は「EXIT」を選択してください。

♪ こんなときは…

- コピーモードを中止する
→ **[MENU]** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **[MENU]** を押す。
- ファイルやフォルダのコピーを中止する
→ ファイルをコピー中にボリュームノブを押し、「YES」を選択する



MEMO

- フォルダをコピーした場合、サブフォルダとその中身はコピーされません。
- フォルダ内にコピーできるファイルがないと、そのフォルダでは選択できません。
- 内蔵メモリーに同じ名前のファイルまたはフォルダがある場合、「OK」を選択すると、コピー後に“(名前)_001”という名前が自動的に設定されます。
- ファイルやフォルダの容量が内蔵メモリーの空き容量より大きいときは“MEMORY OVER”と表示されます。ファイルやフォルダの容量を確認してください。
- フォルダをコピー中に内蔵メモリーの容量がいっぱいになった場合やコピーが中止された場合は、コピー済みのファイルはメモリー内に残ります。
- コピー中に表示されるメモリー容量は概算です。実際とは異なります。
- DRMファイルはコピーできませんが、再生できません。
- コピーはエンジンをかけた状態で行ってください。コピー中にエンジンスイッチをONにすると、ファイルが消去されることがあります。
- コピー中に車両のACCをオフにすると、次回ACCをオンにしたとき“Continue USB Copy?”とメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、コピーが続けられます。
- コピーおよび削除中はボリュームの調整とアッテネート、電源OFF以外の操作はできません。
- ファイルをコピー中にハンズフリーの着信があるとコピーを中止します。

ファイルを削除する

内蔵メモリーをフォーマットしたり、コピーしたファイルやフォルダを削除します。

内蔵メモリーをフォーマットする

内蔵メモリーをフォーマットします。フォーマットすると、コピーしたファイルがすべて消去されます。

- 1 内蔵メモリー音源を再生中に **MENU** を押す
 - 2 **設定** を選択する
 - 3 **Internal Memory Format** を選択する
 - 4 **YES** を選択する
- フォーマットが完了すると“Completed”と表示されます。
- 5 **MENU** を1秒以上押し続けてメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押し続けて終了する



ファイルやフォルダを削除する

ファイルまたはフォルダを選択して削除します。

- 1** 内蔵メモリー音源を再生中に **MENU** を押す
- 2** **設定** を選択する
- 3** **Internal Memory Delete** を選択する
- 4** 削除したいファイルまたはフォルダを選択する
ファイルの探しかたについては、「再生したいファイルを探す（ファイルサーチ）」(P.30) をご覧ください。
- 5** ボリュームノブを3秒以上押す
- 6** **OK** を選択する
削除が完了すると“Complete”と表示されます。
続けて削除する場合は「NEXT」を選択し、手順4からの操作を繰り返してください。
削除を終了する場合は「EXIT」を選択してください。



iPodを聴く・観る

iPodについて

付属のiPod接続ケーブルで接続します。音源選択の **[USB]** 表示は iPod 認識後に **[iPod]** となり、本機からの操作が可能になります。本書で断りの無い限り、「iPod」と呼んでいるのは付属のiPod接続ケーブルで接続されたiPodおよびiPhoneを指します。

本機から操作できるiPodは以下のとおりです。

Made for

- iPod nano (6th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (1st generation)
- iPod with video
- iPod classic
- iPod touch (4th generation)
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1st generation)
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G

MEMO

- iPodを接続すると、本機での再生はiPodで再生していた曲から始まります。ビデオを再生していた場合は、ミュージックの先頭から再生します。
- iPodに“KENWOOD”と表示されているときは、iPodからの操作はできません。
- 接続しているiPodにより、使用できる機能が異なります。
詳しくはwww.kenwood.com/cs/ce/ipodを参照してください。
- USBハブを使って、iPodと他のUSB機器を同時に接続することができます。詳しくは「**USBハブ・マルチカードリーダーについて**」(P.25)をご覧ください。

iPod再生中の画面表示

iPod再生中の画面表示について説明します。

現在のブラウジングカテゴリ



※画面例は初期表示状態のものです。

MEMO

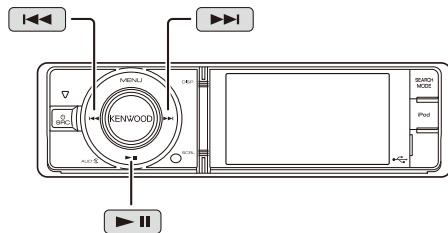
- **[DISP]** を押すごとに、ディスプレイの表示を時計表示などに変更することができます。詳しくは「**全体の表示タイプを切り替える**」(P.72) をご覧ください。

iPod再生中に使うボタン

再生・停止などの操作に使用するボタンについて説明します。

曲の検索など通常再生以外に使用するボタンについては、次ページからの説明をご覧ください。

- 一時停止する → **[▶||]** を押す
- 一時停止から再生する → **[▶||]** を押す
- 早送りする → **[▶▶]** を押し続ける
- 早戻しする → **[◀◀]** を押し続ける
- ファイルの先頭に戻る → **[◀◀]** を押す
- 次のファイルを再生する → **[▶▶]** を押す
- 前のファイルを再生する → **[◀◀]** を2回押す

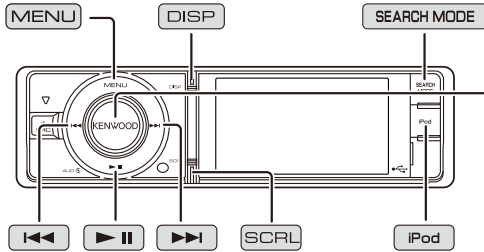


MEMO

- **[◀◀]**、**[▶▶]** で選曲した後は、アートワークを読み込むため、数秒間操作できなくなります。



いろいろな機能を使って再生しよう



ボリュームノブ

以下のように操作します。

例) **Play Mode** を選択する

→ボリュームノブを回して**Play Mode**を
選択し、ボリュームノブを押して決定する。

iPodの操作を本機または iPod本体に切り替える

iPod接続中は、本機から操作できるモード (iPod By Hand ModeがOFFの状態) と、iPodから操作できるモード (iPod By Hand ModeがONの状態) のいずれかで操作します。

モードを切り替えるには以下の手順を行います。

- 1 **iPod** を押して、ON/OFFを切り替える

MEMO

- 接続したiPodがiPod By Hand Modeに対応している場合のみ操作できます。対応していないiPodを接続した場合は、設定できません。
詳しくはwww.kenwood.com/cs/ce/ipod/を参照してください。
- iPod By Hand ModeをONにしているときは、「iPod再生中に使うボタン」(P.38)の操作のみ行うことができます。
- iPod By Hand ModeのON時は、本機のディスプレイに“iPod By Hand Mode”と表示されます。
- ビデオの再生中にiPod By Hand ModeをOFFにすると、ビデオの再生が中止され、オーディオファイルの再生が始まります。

リピート・ランダム再生をする

iPod内の曲やビデオを繰り返し再生したり、順不同に再生します。

1 **[MENU]** を押す

2 **[Play Mode]** を選択する

3 設定項目を選択する

ボリュームノブを押すと項目にチェックが付き、再生設定がオンになります。ボリュームノブを押すたびに、オン/オフが切り替わります。

設定項目	機能
iPod By Hand Mode	本機から操作できるモードと、iPodから操作できるモードを設定します。(P.39)
Folder Random* (表示: Fo・RDM)	選択したリストの曲をランダムな順番で再生します。
All Random* (表示: ALL・RDM)	iPodの曲をランダムな順番で再生します。
File Repeat (表示: Fi・REP)	再生中の曲やビデオを繰り返し再生します。

※ビデオは選択できません。

4 **[MENU]** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **[MENU]** を押し、終了する

♪ こんなときは…

- ランダム再生を中止する
→手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。
- リピート再生を中止する
→手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。

MEMO

- iPodの曲数によっては、全曲ランダムに切り替わるまでに時間がかかることがあります。
- All Random機能をONにすると、iPodのリスト項目が“曲”に変更されます。All Random機能をOFFにしても“曲”のままとなります。
- All Random機能がONのときに、リストから曲を変更すると、All Random機能はOFFになり、選択した項目内の全曲をランダム (Folder Random) に再生します。
- My Playlist (P.46)の曲を再生中は、ランダム再生はできません。

リストから探す

リストから再生したい曲やビデオを探します。(ファイルサーチ)

1 **[MENU]** を押す

2 **[ミュージック]** または **[ビデオ]** を選択する

以下の項目が表示されます。

リスト	項目
ミュージック	プレイリスト
	アーティスト
	アルバム
	曲
	Podcast
	ジャンル
	作曲家
	オーディオブック
ビデオ	ビデオプレイリスト
	ムービー
	ミュージックビデオ
	テレビ番組
	ビデオポッドキャスト レンタル



3 以下の操作で再生したい項目を選択する

曲名またはビデオ名を選択するまで同様の操作を繰り返します。

動作	操作
リストの切り替え	ボリュームノブを回します。
リスト選択または選択した曲やビデオの再生	ボリュームノブを押します。
1つ上の階層に戻る	MENU を押します。
リストのページスクロール	DISP または SCRL を押します。
リストの連続スクロール	DISP または SCRL を1秒以上押します。 もう一度 DISP または SCRL を押すか、ボリュームノブを回すと停止します。

選択した曲やビデオを含むリストが再生されます。

♪ こんなときは…

- ファイルサーチを中止する
→ **MENU** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押す。

MEMO

- 「ビデオ」の項目名と項目数はiPodと同じものが表示されます。
- サーチモードで曲やビデオを検索すると、その曲やビデオのある階層が本機に記憶されます。曲やビデオを検索した後本機の設定を行う場合、**MENU** を押すと記憶された階層が表示されてしまいますので、一度 **MENU** を1秒以上押して第1階層に移動してから設定を行ってください。
- 曲名などで表示できない文字は“ ”(空白)が表示されます。ただし、すべての文字を表示できない場合は、選択したリスト名と数字で表示します。

● ミュージックを選択した場合

表示	項目
"PLIST***"	プレイリスト
"ART***"	アーティスト
"ALB***"	アルバム
"PRGM***"	曲名やファイル名
"PDCT***"	Podcast
"GEN***"	ジャンル
"COM***"	作曲家

● ビデオを選択した場合

表示	項目
"CAT***"	カテゴリー
"LIST***"	リスト
"PRGM***"	ファイル名

サーチモードで探す

探したい曲やビデオに最適な検索方法を、サーチモードから選択できます。

1 SEARCH MODE を押す

サーチモードの各機能は以下のとおりです。

通常表示中

設定項目	機能
Direct Search	再生したい曲やビデオのリスト項目と頭文字を指定して検索します。(P.43)
Related Search (ミュージックのみ)	再生中の曲に関連する曲を検索します。(P.45)
Recall My Playlist	プレイリストに登録した曲やビデオを呼び出します。(P.46)
Delete My Playlist	プレイリストに登録した曲やビデオを削除します。(P.47)
Register My Playlist	プレイリストに登録して再生します。(P.46)

リスト項目表示中

設定項目	機能
Direct Search	再生したい曲やビデオのリスト項目と頭文字を指定して検索します。(P.43)
Initial Search	選択中のリスト項目から、アルファベットやひらがなで検索します。(P.44)
Skip Search	iPod内にたくさんの曲やビデオが保存されている場合に、リスト上で何曲か飛ばしながら検索します。(P.45)
Register My Playlist	プレイリストに登録して再生します。(P.46)

2 設定項目を選択する

以降の操作は、各モードの説明ページをご覧ください。

♪ こんなときは…

- ・ サーチモードを中止する
→ SEARCH MODE を押す。



ジャンルと文字を選択して探す (ダイレクトサーチ)

再生したい曲やビデオをリスト項目と頭文字を指定して検索します。

- 1 **SEARCH MODE** を押す
- 2 **Direct Search** を選択する
- 3 **ミュージック** または **ビデオ** を選択する
- 4 検索するリスト項目を選択する
ボリュームノブを回して、1列目のリスト項目を選択します。ボリュームノブを押すと次の列に進みます。

リスト	項目
ミュージック	プレイリスト
	アーティスト
	アルバム
	曲
	Podcast
	ジャンル
	作曲者
	オーディオブック
ビデオ	ビデオプレイリスト
	ムービー
	ミュージックビデオ
	テレビ番組
	ビデオポッドキャスト
	レンタル

5 検索する頭文字を選択する

ボリュームノブを回して、2～4列目で聴きたい曲やアーティスト名の頭文字を3文字まで入力します。ボリュームノブを押すと次の列に進みます。

MEMO

- **▶▶** または **◀◀** を押すと列が前後に進みます。
- 入力できる文字は、A～Z、0～9、* です。A～Z、または0～9以外の文字で始まる曲やビデオを検索したいときは「*」を1文字目に入力します。「*」を入力すると、2～3文字目は入力できません。
- a/an/theのような冠詞や記号、スペースは検索対象となりません。それらで始まる場合は、その後に続く文字で探します。

6 **DONE** を選択する

検索が開始され、該当する曲やビデオのリストが表示されます。ここからは、「リストから探す」(P.40)の手順3を参照して曲やビデオを選びます。

文字を入力して探す (イニシャルサーチ)

選択中のリスト項目から、特定の文字を含む曲やビデオを検索します。

- 1 **MENU** を押す
- 2 **ミュージック** または **ビデオ** を選択する
- 3 再生したい曲またはビデオのリストを選択する
- 4 **SEARCH MODE** を押す
- 5 **Initial Search** を選択する
- 6 **DISP** または **SCRL** でイニシャルを選択する
ボリュームノブを回すまたはボリュームノブを押すと、選択しているイニシャルに該当する曲またはビデオのリストが表示されます。
- 7 リストから曲またはビデオを選択する

動作	操作
曲またはビデオの切り替え	ボリュームノブを回します。
曲またはビデオの再生	ボリュームノブを押します。
イニシャルサーチ画面に戻る	DISP または SCRL を押します。

曲またはビデオを選択するとサーチモードが解除され、再生が始まります。

MEMO

- Initial Searchでは、イニシャルアルファベット、数字およびひらがなのア段（あ、か、さ、た、な、は、ま、や、ら、わ）で検索できます。
- iPodに収録されている曲やビデオの数によっては、検索に時間がかかる場合があります。
- a/an/theのような冠詞や記号、スペースは検索対象となりません。それらで始まる場合は、その後に続く文字で探します。
- 「*」は記号を、「0」は数字を検索します。



関連する曲を探す (リレーティドサーチ)

再生中の曲の情報をもとに、その曲に関連するアーティスト、アルバム、曲を検索します。(ミュージックのみ)

- 1 **SEARCH MODE** を押す
- 2 **Related Search** を選択する
- 3 検索する項目を選択する

表示	機能
Search Artist	現在再生している曲のアーティストのアルバムリストが表示されます。
Search Album	現在再生している曲が含まれるアルバム内の曲リストが表示されます。
Search Genre	現在再生している曲と同じジャンルのアーティストのリストが表示されます。
Search Composer	現在再生している曲と同じ作曲者の曲が含まれるアルバムリストが表示されます。

検索が開始され、該当するリストが表示されます。ここからは、「**リストから探す**」(P.40)の手順3を参照して曲を選びます。

MEMO

- ビデオを再生中は使用できません。
- 再生中の曲にアーティストなどの情報がない場合や、該当する曲が見つからない場合は、“Not Found”と表示されます。

すばやくスクロールして探す (スキップサーチ)

選択しているリスト項目の数に応じて、すばやくスクロールして曲やビデオを検索します。

- 1 **MENU** を押す
- 2 **ミュージック** または **ビデオ** を選択する
- 3 再生したい曲またはビデオのリストを選択する
- 4 **SEARCH MODE** を押す
- 5 **Skip Search** を選択する
- 6 **DISP** または **SCRL** を押して再生したい曲またはビデオを探す

MEMO

- 3秒以上 **DISP** または **SCRL** を押すと、設定に関係なく10%の割合で曲をスキップして表示します。例えば選択したリスト内のファイルが100ファイルの場合、10ファイルずつスキップします。
- ファイルをスキップする割合は、**▶▶**、**◀◀** で変更できます。
- スキップの割合について詳しくは「**音源ごとに設定を変更しよう**」(P.86)の“Skip Search”項目をご覧ください。

- 7 再生したい曲またはビデオを選択する

曲またはビデオを選択するとサーチモードが解除され、再生が始まります。

My Playlistを利用する

お好みの曲やビデオを本機のMy Playlistに登録して再生することができます。登録できる曲数は最大30曲です。

MEMO

- この機能が利用できるiPodの種類は、www.kenwood.com/cs/ce/ipod/をご覧ください。

My Playlistに登録する

1 登録したい曲またはビデオを再生中に **SEARCH MODE** を押す

2 **Register My Playlist** を選択する

再生中の曲またはビデオがMy Playlistに登録されます。

MEMO

- My Playlistは1台のiPodに入っている曲またはビデオからのみ選択して作成します。登録したiPodとは異なるiPodを接続して登録操作をすると、“ALL Delete?”と表示されます。この後、**YES** を選ぶと、My Playlistが削除されます。
- ファイルサーチ (P.40) 中表示されている曲やビデオも、同様の操作で登録することができます。
- Podcastsは登録しないでください。意図していない曲やビデオが登録されてしまうなど、正しく登録・再生できない場合があります。
- 同じ曲やビデオを複数登録することもできます。
- My Playlistへの登録は、追加登録のみ可能です。リストの途中に登録することはできません。

My Playlistを再生する

1 **SEARCH MODE** を押す

2 **Recall My Playlist** を選択する

3 再生したい曲またはビデオを選択する

MYLISTインジケータが表示され、選択した曲またはビデオの再生が始まります。

MEMO

- リスト内の最終曲の再生が終了すると1曲目の再生が始まり、My Playlist内で全曲再生を行います。
- My Playlistの曲を再生中は、ランダム再生はできません。
- ファイルサーチ (P.40) を行うと、My Playlistモードは解除されます。
- ACCや電源をオフにするとMy Playlistモードは解除されます。



My Playlistから曲やビデオを削除する

- 1 **SEARCH MODE** を押す
- 2 **Delete My Playlist** を選択する
- 3 **Delete One** または **Delete All** を選択する

MEMO

- **Delete One** を選ぶとリスト表示で選択した曲またはビデオのみを削除します。
Delete All を選択するとMy Playlistに登録されている曲とビデオをすべて削除します。

- 4 **YES** を選択する
My Playlistから曲またはビデオが削除されます。

MEMO

- My Playlistの全削除は、iPodの設定の“設定” - “Delete My Playlist” からも行えます。(P.86)
- My Playlistに登録したiPodと異なるiPodを接続して登録操作をすると、“ALL Delete?”と表示されます。この後、**YES** を選ぶと、My Playlistが削除されます。

iPodビデオの映像を外部モニターに出力する

iPodのビデオ映像を出力して、外部モニターに表示することができます。

初期設定を変更する

- 1 音源を STANDBYに設定する
- 2 **MENU** を押す
- 3 **Initial Settings** を選択する
- 4 **AV Out Set** を選択する
- 5 **ON** を選択する
- 6 **MENU** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押し、終了する

iPodを再生する

- 1 音源を iPodに設定する
iPodの再生がはじまります。

♪ こんなときは…

- 本機の音源をiPod以外にしていると、iPodの曲を替える
→ **iPod** を押して音源をiPodに切り替えます。もう一度 **iPod** を押し、iPod By Hand ModeをONにすると、本機の音源をiPod以外に切り替えてもiPod本体で曲を選択できます。

MEMO

- 内蔵メモリーソースを選択している場合は、iPodビデオの映像を出力することができません。



ラジオを聴く

ラジオ受信中の画面表示

ラジオ受信中の画面表示について説明します。



※画面例は初期表示状態のものです。

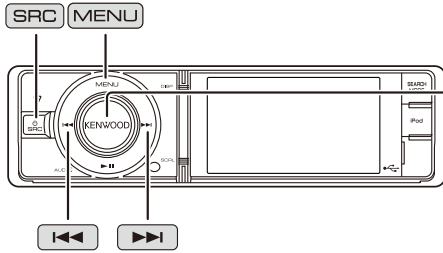
MEMO

- **DISP** を押すごとに、ディスプレイの表示を周波数表示や時計表示などに変更することができます。詳しくは「**全体の表示タイプを切り替える**」(P.72) をご覧ください。
- 受信状態が悪いときなど、FMステレオ放送をモノラルで受信して雑音を軽減することができます。詳しくは「**音源ごとに設定を変更しよう**」-「**Forced MONO**」(P.86) をご覧ください。



交通情報を聴く

再生中の音源に関わらず、いつでも交通情報を聴くことができます。



ボリュームノブ

以下のように操作します。

例) **List & Memory** を選択する

→ボリュームノブを回して**List & Memory**を選択し、ボリュームノブを押しで決定する。

1 **MENU** を押す

2 **TI** を選択する

交通情報が受信されます。

SRC を押すと、交通情報の受信を中止して受信前の状態に戻ります。

♪ こんなときは…

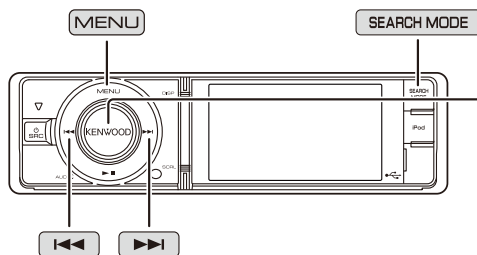
- 交通情報の受信周波数を切り替えたい
→ **▶▶** または **◀◀** を押して522kHz/1620kHz/1629kHzのいずれかに合わせる。

📖 MEMO

- 交通情報の受信中にボリュームノブで音量を調整すると、その音量は記憶され、次に交通情報を受信したときも同じ音量で聴くことができます。



ラジオを聴く



ボリュームノブ
 以下のように操作します。
 例) **List & Memory** を選択する
 →ボリュームノブを回して**List & Memory** を
 選択し、ボリュームノブを押し決定する。

受信バンドを選択する

FM、AMの受信バンドを選択します。

- 1** **SEARCH MODE** を押す
押すごとに受信バンドが切り替わります。

MEMO

- **MENU** を押しお好みのバンドを選択して受信することもできます。

聴きたい放送局を自動で探す

- 1** 聴きたいバンドを選択する
操作方法は「**受信バンドを選択する**」(P.50)をご覧ください。
- 2** **▶▶** または **◀◀** を押す
受信状態の良い放送局が自動で受信されます。

♪ こんなときは…

- 手で周波数を合わせたい
→ **P.86**を参照して、“Seek Mode”を“Manual”に設定し、**▶▶** または **◀◀** を押し周波数を合わせる。

MEMO

- 付属のリモコンを使えば、周波数を入力して直接聴きたい放送局を受信することができます。詳しくは「**リモコンを操作する**」(P.98)をご覧ください。

放送局を手動登録する

受信している放送局を放送局リストに登録できます。リストに登録すると、簡単に呼び出すことができます。

- 1** お好みの放送局を受信する
- 2** **MENU** を押す
- 3** **List & Memory** を選択する
放送局リストが表示されます。
- 4** 登録する番号を選択して、ボリュームノブを2秒以上押す
選択したリスト番号に、受信中の放送局が登録されます。

MEMO

- 登録済みのリスト番号には上書きで登録されます。



放送局を自動登録する (オートメモリー)

放送局を自動的に放送局リストに登録します。

- 1 聴きたいバンドを選択する
操作方法是「受信バンドを選択する」
(P.50) をご覧ください。
- 2 **MENU** を押す
- 3 **設定** を選択する
- 4 **Auto Memory** を選択する
- 5 **YES** を選択する
受信状態の良い放送局が、放送局リストに自動的に最大で12局分登録されます。

MEMO

- バンドごとに、12局の放送局を登録することができます。手動登録とオートメモリーは、どちらか最後に登録したものが有効になります。
- 「初期設定を変更しよう」の「Tuner Preset Type」(P.96) が「Type Mixed」に設定されているときは、オートメモリーはできません。

登録した放送局を呼び出す

放送局リストに登録した放送局を呼び出します。

- 1 聴きたいバンドを選択する
操作方法是「受信バンドを選択する」
(P.50) をご覧ください。
- 2 **MENU** を選択する
- 3 **List & Memory** を選択する
放送局リストが表示されます。
- 4 聴きたい放送局の番号を選択する
選択した放送局が受信されます。

♪ こんなときは…

- 登録された放送局を順に受信したい
→ P.86を参照して、「Seek Mode」を
「Auto2」に設定すると、**▶▶** を
押すごとに順に受信します。

MEMO

- 放送局の登録は「Tuner Preset Type」の「Type Normal」用と「Type Mixed」用で別々に記録されます。



お気に入りの放送局を登録してワンタッチで呼び出す (Mixed Preset Memory)

バンドを切り替えることなくAM/FM両方の放送局の登録、呼び出しができます。

■初期設定を変更する

- 1 音源を STANDBYに設定する
- 2 **MENU** を押す
- 3 **Initial Settings** を選択する
- 4 **Tuner Preset Type** を選択する
- 5 **Type Mixed** を選択する
- 6 **MENU** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押し、終了する

■放送局を登録する

- 1 音源を TUNERに設定する
- 2 登録したい放送局を受信する
- 3 **MENU** を押す
- 4 **List & Memory** を選択する
放送局リストが表示されます。
- 5 登録する番号を選択して、ボリュームノブを2秒以上押し
選択したリスト番号に、受信中の放送局が登録されます。

■登録した放送局を呼び出す

- 1 音源を TUNERに設定する
- 2 **MENU** を選択する
- 3 **List & Memory** を選択する
放送局リストが表示されます。
- 4 聴きたい放送局の番号を選択する
選択した放送局が受信されます。

♪こんなときは…

- Type Normalでプリセットを手動登録またはオートメモリーの放送局の登録ボタンに戻したい
→ “Tuner Preset Type” を “Type Normal” に設定する。(P.96)

📖 MEMO

- AMバンドとFMバンド合わせて6局の放送局を登録することができます。
- プリセットメモリーは “Type Mixed” 用に登録します。“Type Normal” で登録した内容には影響がありません。





Bluetoothオーディオの操作をする

使用できるBluetoothオーディオ機器

別売品の「KCA-BT300」または「KCA-BT200」で使用できるBluetoothオーディオ機器の仕様は以下のとおりです。

対応バージョン	KCA-BT300 : Bluetooth標準規格Ver.2.1+EDR準拠 KCA-BT200 : Bluetooth標準規格Ver.1.2準拠
対応プロファイル	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)

MEMO

- A2DPはオーディオ機器の音楽を伝送するためのプロファイルです。
- AVRCPはオーディオ機器の再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。

使用を始める前に

Bluetoothオーディオを使用するには、あらかじめ本機に登録しておく必要があります。詳しくは「**Bluetooth機器を登録する**」(P.57)をご覧ください。

複数のBluetoothオーディオ機器を登録している場合は、使用するBluetoothオーディオ機器を選択する必要があります。詳しくは「**接続するBluetooth機器を選択する**」(P.90)をご覧ください。

音源をBluetoothオーディオに切り替えるには、音源表示で **BT AUDIO EXT** を選択します。操作方法は「**音源を切り替えよう**」(P.18)をご覧ください。

MEMO

- リモートコントロール (AVRCP) に対応していないBluetoothオーディオ機器は操作できません。オーディオ機器側で操作してください。
- 電源を切るなどBluetooth接続が切れたあと、リモートコントロールできない、または再接続できないオーディオ機器があります。オーディオ機器側でBluetooth接続の操作を行ってください。
- 「**お好みの音質に設定しよう(オーディオコントロール)**」(P.78)の“2Zone Select”を“OFF”以外にし、“2Zone Front/Rear”を“Front”に設定している場合は、Bluetoothオーディオを選択できません。



Bluetoothオーディオ再生中の画面表示

Bluetoothオーディオ再生中の画面表示について説明します。



※画面例は初期表示状態のものです。

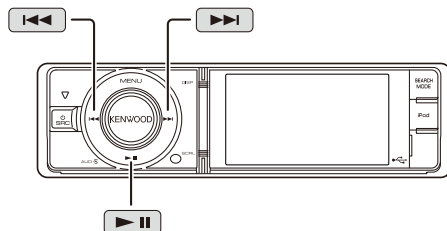
MEMO

- **DISP** を押すごとに、ディスプレイの表示を時計表示などに変更することができます。詳しくは「**全体の表示タイプを切り替える**」(P.72)をご覧ください。
- タイトルやアーティスト名などの再生情報は、AVRCP1.3に対応したBluetooth機器を「KCA-BT300」で接続したときのみ表示されます。

Bluetoothオーディオ再生中に使うボタン

再生・停止などの操作に使用するボタンについて説明します。

- 一時停止する → を押す
- 一時停止から再生する → を押す
- 曲の先頭に戻る → を押す
- 次の曲を聴く → を押す
- 前の曲を聴く → を2回押す





ハンズフリー通話の操作をする

使用できるBluetooth対応携帯電話

別売品の「KCA-BT300」または「KCA-BT200」で使用できるBluetooth対応携帯電話の様子は以下のとおりです。

対応バージョン	KCA-BT300 : Bluetooth標準規格Ver.2.1+EDR準拠 KCA-BT200 : Bluetooth標準規格Ver.1.2準拠
対応プロファイル	HFP (Hands Free Profile) OPP (Object Push Profile) PBAP (Phone Book Access Profile) SYNC (Synchronization Profile)

互換性を確認した携帯電話機については、下記URLをご覧ください。

<http://www.kenwood.com/cs/ce/bt/>

MEMO

- Bluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。
- HFPはハンズフリー通話をかけるためのプロファイルです。
- OPPは機器間で電話帳などのデータを転送するためのプロファイルです。

使用を始める前に

Bluetooth対応携帯電話を使用して本機でハンズフリー操作を行うには、あらかじめ本機に携帯電話を登録しておく必要があります。詳しくは「**Bluetooth機器を登録する**」(P.57)をご覧ください。

複数のBluetooth対応携帯電話を登録している場合は、使用する携帯電話を選択する必要があります。詳しくは「**接続するBluetooth機器を選択する**」(P.90)をご覧ください。

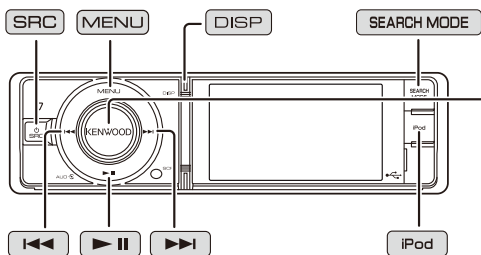
電話帳を利用するには、あらかじめ本機に電話帳をダウンロードする必要があります。詳しくは「**電話帳をダウンロードする**」(P.61)をご覧ください。

MEMO

- 通話中にUSB機器やiPodを接続するなど音源を切り替えると通話が切れます。
- 携帯電話が本機に接続されているときは、“BT” インジケータが点灯します。



Bluetooth機器を登録する



ボリュームノブ

以下のように操作します。

例) **BT Settings** を選択する

→ボリュームノブを回して**BT Settings**を選択し、ボリュームノブを押して決定する。

本機から登録する (ペアリング)

ここでは、本機から操作してBluetooth機器を登録する方法を説明します。

- 1 **iPod** を1秒以上押す
- 2 **BT Settings** を選択する
- 3 **Pairing** を選択する
- 4 **Device Registration** を選択する
Bluetooth機器の検索が始まります。検索が終了すると、ディスプレイに“Finished”と表示されます。
- 5 リストからBluetooth機器を選択する
「KCA-BT300」で接続している場合、“Pairing Success”と表示されたときは、手順8に進んでください。
“Confirm Phone”と表示され続ける場合は、携帯電話を確認し操作してください。
“Pairing Failed”または“Connect NG”と表示されたときは、ボリュームノブを押して、手順6に進んでください。

- 6 PINコードを入力する
PINコードの桁を選択した後、数字を選択します。
- 7 ボリュームノブを1秒以上押して、PINコードを送信する
“Pairing Success”が表示されたら登録完了です。
“Confirm Phone”と表示され続ける場合は、携帯電話を確認し操作してください。
- 8 ボリュームノブを押す
機器リスト画面に戻ります。

MEMO

- ・本機から登録できない場合は、Bluetooth機器側から登録してください。詳しくは「携帯電話から登録する(ペアリング)」(P.58)をご覧ください。
- ・本機で入力できるPINコードは8桁までの数字です。本機で入力できないPINコードの場合は、Bluetooth機器側から登録してください。
- ・登録済みのBluetooth機器が5台ある場合は、新たに登録することができません。不要な登録を削除してください。
- ・PINコードが正しいのにエラー表示が出て登録できない場合は、「特殊なBluetooth機器を登録する」(P.94)の登録を試してください。



携帯電話から登録する (ペアリング)

ここでは、携帯電話から操作して本機に登録する方法を説明します。

1 本機の電源を入れる

2 携帯電話を操作して機器登録を行う

検索した接続機器の中から“KCA-BT300”または“KCA-BT200”を選択します。

携帯電話の操作方法については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

3 PINコードを入力する

PINコードの桁を選択した後、数字を選択します。

📖 MEMO

- PINコードは初期設定では“0000”が設定されています。
- Bluetooth設定の「PIN Code Edit」(P.88)でPINコードを変更することができます。

4 携帯電話を操作して接続を開始する

📖 MEMO

- 携帯電話から登録できない場合は、「**特殊なBluetooth機器を登録する**」(P.94)を参照して登録してください。



携帯電話を利用する

電話をかける

- 1 **iPod** を1秒以上押す
発信モードになります。
- 2 発信方法を選択する

表示	発信方法
Preset Call	登録した番号に電話をかけます。(P.60)
Phonebook	電話帳を名前順に探して電話をかけます。(P.61)
Outgoing Calls	発信履歴から電話をかけます。(P.62)
Incoming Calls	着信履歴から電話をかけます。(P.62)
Missed Calls	不在着信履歴から電話をかけます。(P.62)
SMS Inbox	携帯電話に届いたショートメッセージ(SMS)を表示します。(P.91)
Number Dial	電話番号を入力して電話をかけます。(P.59)
Voice Recognize	音声で電話をかけます。(P.62)

以降の操作は、各モードの説明ページをご覧ください。

♪ こんなときは…

- 発信方法選択を中止する
→ **iPod** を1秒以上押す

電話番号を入力して電話をかける

- 1 **iPod** を1秒以上押す
発信モードになります。
- 2 **Number Dial** を選択する
- 3 電話番号を入力する

動作	操作
数字を選択する	ボリュームノブを回す
次の桁に移動する	を押す
最後の桁を消去する	を押す

- 4 ボリュームノブを押す
電話を発信します。

📖 MEMO

- 入力できる電話番号は、32桁までです。



ハンズフリー通話の操作をする

登録した番号に電話をかける

本機に電話番号を登録（プリセット）して、簡単に電話をかけることができます。プリセット番号を使用するには、あらかじめ電話番号を登録する必要があります。

プリセット番号を登録する

- 1 登録する電話番号を入力する
入力方法について詳しくは「電話番号を入力して電話をかける」(P.59)、「電話帳から電話をかける」(P.61)、「履歴から電話をかける」(P.62)をご覧ください。
- 2 ボリュームノブを1秒以上押す
- 3 リストから登録する番号を選択する
- 4 ボリュームノブを2秒以上押す
選択したプリセット番号に電話番号が登録されます。

♪ こんなときは…

- 番号登録を中止する
→ **[MENU]** を押す

プリセット番号から電話をかける

- 1 **[iPod]** を1秒以上押す
発信モードになります。
- 2 **[Preset Call]** を選択する
- 3 電話をかけたいプリセット番号を選択する
ディスプレイに電話番号が表示されます。
- 4 ボリュームノブを押す
電話を発信します。



電話帳を利用する

電話帳に登録されている番号に電話をかけます。

電話帳を利用するには、あらかじめ携帯電話から電話帳をダウンロードする必要があります。

電話帳をダウンロードする

携帯電話に登録されている電話帳のデータを、本機にダウンロードして本機の電話帳として利用できるようにします。

●自動でダウンロードする場合

携帯電話が電話帳のシンクロ機能に対応している場合、Bluetooth対応携帯電話を接続すると自動でダウンロードします。

MEMO

- 携帯電話側の設定が必要な場合があります。
- “Completed” と表示されても電話帳にデータがない場合、お使いの携帯電話は自動ダウンロードに対応していません。手でダウンロードしてください。

●携帯電話から手でダウンロードする場合

1 携帯電話を操作してハンズフリー接続を終了する

2 携帯電話を操作して電話帳を送信する

ダウンロード中は“Downloading”と表示されます。“Completed”が表示されたらダウンロード完了です。

3 携帯電話を操作してハンズフリー接続を開始する

●ダウンロード完了表示を消すには

何か操作を行うと表示が消えます。

MEMO

- 本機は機器登録した携帯電話ごとに1000件まで電話番号を登録できます。
- 1件に登録できるのは、電話番号が32桁、名前が50文字までです。(文字数は1バイトの場合です。文字種により少なくなります。)
- 電話帳のダウンロードを途中で中止するには、携帯電話側で中止してください。

電話帳から電話をかける

1 **iPod** を1秒以上押す
発信モードになります。

2 **Phonebook** を選択する

3 フリガナを選択する

動作	操作
頭文字を選択する	ボリュームノブを回す
フリガナを決定する	ボリュームノブを押す

4 ボリュームノブを回して名前を選択する

MEMO

- **DISP** を押すと、名前と詳細の表示を切り替えることができます。

5 ボリュームノブを押す
電話を発信します。

MEMO

- フリガナ検索は、携帯電話の電話帳に登録されているフリガナを利用しています。フリガナが登録されていないと検索できません。



履歴から電話をかける

- 1 iPod を1秒以上押す
発信モードになります。
- 2 Incoming Calls (着信履歴)、
Outgoing Calls (発信履歴)
または Missed Calls (不在着
信履歴) を選択する
- 3 名前または電話番号を選択する

MEMO

- DISP を押すと、名前と詳細の表示を切り替えることができます。

- 4 ボリュームノブを押す
電話を発信します。

MEMO

- 発信履歴、着信履歴、および不在着信履歴は、本機で発信および着信した履歴です。携帯電話内の履歴ではありません。

音声で電話をかける

- 1 ボリュームノブを1秒以上押す
音声認識モードになり、“Phonebook
Name ?” と表示されます。
- 2 ビープ音が聞こえたら2秒以内に
名前を発声する
“Phonebook Type ?” と表示され
ます。
- 3 ビープ音が聞こえたら2秒以内に
カテゴリ (種類) を発声する
電話番号が表示されます。
- 4 ボリュームノブを押す
電話を発信します。
電話番号を変える場合は、「電話帳か
ら電話をかける」(P.61)の手順4の操作
を行います。






MEMO

- 発信方法の選択で“Voice Recognize”を選択しても操作を行えます。(P.59)
- 音声認識されないときはメッセージが表示されます。メッセージの表示後にボリュームノブを押すと再度音声入力ができます。(P.104)
- 音声認識を行うには、あらかじめ名前とカテゴリにボイスタグを登録する必要があります。詳しくは「電話帳にボイスタグを設定する」(P.92)と「カテゴリのボイスタグを設定する」(P.93)をご覧ください。
- 電話帳にカテゴリが登録されていない、またはカテゴリのボイスタグが登録されていないと手順3の操作がなくなります。
- 音声認識を行っている間は、オーディオの音声は出力されません。



電話帳のカテゴリ表示について

電話帳の検索など電話番号のカテゴリを次のように表示します。

表示	情報
	一般
	自宅
	携帯電話
	会社
	その他

電話を受ける

- 1 ボリュームノブを押す
電話を受信します。

MEMO

- USB機器を接続するなど、音源を切り替えると通話が切断されます。
- 電話帳に名前が登録されている場合、電話をかけた人の名前がディスプレイに表示されます。

♪ こんなときは…

- 着信を拒否する
→ **SRC** を押す、または **iPod** を1秒以上押す。

通話を終了する

- 1 **SRC** を押す、または **iPod** を押す



ハンズフリー通話の操作をする

いろいろな操作

	動作	操作
通話中	通話中の音量を調整する ^{※1}	ボリュームノブを回す
	プライベート通話に切り替える ^{※2}	を押す
割り込み通話	今の通話を保留にして、かかってきた電話に出る	を選択する
	今の通話を終了して、かかってきた電話に出る	を押す、または を押す
	今の通話を続ける	を選択する
	今の通話を終了して、保留中の電話に出る	を押す、または を押す
	保留中の通話に切り替える ^{※3}	ボリュームノブを押す
その他	未接続表示 (“HF Disconnect”) を解除する	を1秒以上押す

※1 ここで受話音量を調整すると、次回の通話でも同じ音量になります。

受話音量を大きくすると、エコーが発生しやすくなります。エコーは受話音量に比例して大きくなるので、エコーが発生したときは音量をなるべく小さくしてください。

※2 を押すごとに、プライベート通話（携帯電話での操作）と本機でのハンズフリー操作が切り替わります。携帯電話によってはプライベート通話に切り替えるとハンズフリー接続の前に聞いていた音源に戻ることがあります。その場合は、本機ではハンズフリー通話に戻すことができません。携帯電話側を操作してハンズフリー通話に切り替えてください。

※3 ボリュームノブを押すごとに、現在の電話と保留中の電話が切り替わります。











MEMO

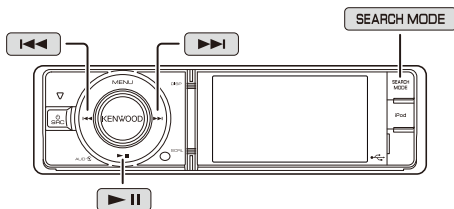
ディスクチェンジャーを聴く

ディスクの再生機能に使うボタン

再生・停止などの操作に使用するボタンについて説明します。

リピートなど通常再生以外に使用するボタンについては、次の説明をご覧ください。

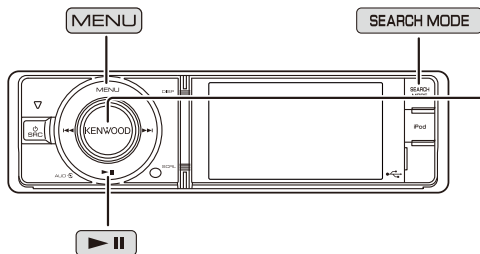
- 一時停止する →  を押す
- 一時停止から再生する →  を押す
- 早送りする →  を押し続ける
- 早戻しする →  を押し続ける
- 曲の先頭に戻る →  を押す
- 次の曲を再生する →  を押す
- 次のディスクに進む →  を押す
- 前の曲を再生する →  を2回押す





MEMO

- ・ KSF (別売品のHDX-710などの音楽ファイル) を再生中は、早送り／早戻しはできません。

いろいろな機能を使って再生しよう



ボリュームノブ
以下のように操作します。
例)  を選択する
→ ボリュームノブを回して  を
選択し、ボリュームノブを押して決定する。



リピート・スキャン・ランダム再生をする

ディスク内の曲を繰り返し再生したり、順不同に再生します。

また、スキャン再生を行うと、ディスク内の各曲を先頭から10秒間ずつ再生します。聴きたい曲などを探すときに便利です。

- 1 **MENU** を押す
- 2 **Play Mode** を選択する
- 3 設定項目を選択する

ボリュームノブを押すと項目にチェックが付き、再生設定がオンになります。ボリュームノブを押すたびに、オン/オフが切り替わります。

ディスクチェンジャーの場合

設定項目	機能
Track Scan (表示: SCAN)	ディスクの各曲の最初の部分を10秒間ずつ再生します。
Disc Random (表示: RDM)	ディスクの曲をランダムな順番で再生します。
Magazine Random (表示: M・RDM)	ディスクチェンジャーのすべての曲をランダムな順番で再生します。
Track Repeat (表示: T・REP)	再生中の曲を繰り返し再生します。
Disc Repeat (表示: D・REP)	再生中のディスクを繰り返し再生します。

KSF (別売品のHDX-710などの音楽ファイル) の場合

設定項目	機能
File Scan (表示: Fi・SCAN)	フォルダの各曲の最初の部分を10秒間ずつ再生します。
Folder Random (表示: Fo・RDM)	フォルダの曲をランダムな順番で再生します。
Repeat (表示①: Fi・REP 表示②: Fo・REP)	ボリュームノブを押すごとに、①再生中ファイルの繰り返し→②再生中フォルダの繰り返し→繰り返し再生OFFが切り替わります。

- 4 **MENU** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押し て終了する

MEMO

- Track Scan、File Scanですべての曲がスキャン再生されると、自動的に終了します。

♪ こんなときは…

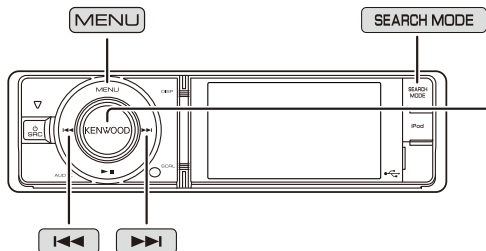
- スキャン再生を中止する
→ **▶||** を押すか、手順1から4を繰り返して設定をOFFにする。
- ランダム再生を中止する
→ 手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。
- リピート再生を中止する
→ 手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。



テレビの操作をする

本機からテレビの操作をする

別売品のLX-BUS 対応のナビゲーション、HDX-710 などが接続されているときに、本機からテレビの操作をすることができます。



ボリュームノブ
以下のように操作します。
例) **List & Memory** を選択する
→ボリュームノブを回して **List & Memory** を
選択し、ボリュームノブを押して決定する。

観たい放送局を探す

- SEARCH MODE** を押す
押すごとにテレビ放送バンドとビデオ入力が切り替わります。
- ▶▶** または **◀◀** を押す
放送局が切り替わります。

♪こんなときは…

- メイン音声とサブ音声を切り替える
→ **SEARCH MODE** を1秒以上押す。

MEMO

- 付属のリモコンを使えば、チャンネル番号を直接入力して観たい放送局を受信することができます。詳しくは「**リモコンを操作する**」(P.98) をご覧ください。
- 動作は接続している別売品のテレビモニターの設定によって異なります。詳しくは、テレビモニターの取扱説明書を参照してください。

放送局を手動登録する

受信している放送局を本機に登録して、簡単に呼び出すことができます。

- お好みの放送局を受信する
操作方法は「**観たい放送局を探す**」(P.68) をご覧ください。
- MENU** を押す
- List & Memory** を選択する
放送局リストが表示されます。
- 登録する番号を選択して、ボリュームノブを2秒以上押す
選択したリスト番号に、受信中の放送局が登録されます。



登録した放送局を呼び出す

- 1** テレビ放送バンドを選択する
操作方法は「観たい放送局を探す」
(P.68) をご覧ください。
- 2** **MENU** を押す
- 3** **List & Memory** を選択する
放送局リストが表示されます。
- 4** 観たい放送局の番号を選択する
選択した放送局が受信されます。



本機の設定をする

ディスプレイの表示を設定しよう

ディスプレイの表示や色に関する設定を行います。操作方法は、「メニュー画面を操作しよう」(P.20) を参照してください。

1 **MENU** を押す

2 **設定** を選択する

3 **Display & Illumination** を選択する

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

表示	設定内容	設定値
Display Select ^{*1}	表示タイプを切替えます。 Type Select : ディスプレイ全体の表示タイプを切り替えます。(P.72) Side Select : アートワークの表示／非表示を切り替えます。(P.73) Text Select : ディスプレイに表示されるテキスト(アーティスト名や曲名、時計表示など)の項目を切り替えます。(P.73) Graphic Select : 「アートワーク (小)」に設定しているときの壁紙を切り替えます。(P.74) また、「クロック」のデジタル表示とアナログ表示を切り替えます。(P.74)	—
Display Off Mode	「ON」に設定すると、本機の操作を5秒間行わなかった場合にディスプレイの表示を消します。 ただし、各設定モード中はONに設定して5秒経過してもディスプレイは消えません。	ON/OFF
Display Dimmer	ディスプレイの明るさを切り替えます。 Auto : 車両のライトスイッチに連動して減光します。 OFF : 減光しません。	Auto/OFF
TEXT Scroll	ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダ名、ファイル名、曲タイトル/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。 Auto : スクロールを繰り返します。 Once : 1回スクロールします。 OFF : スクロールしません。	Auto/Once/OFF
Key Color Select	キーのイルミネーション色を設定します。(P.75) 色をお好みで調整することもできます。(P.75)	—



表示	設定内容	設定値
Key ILLUMI Dimmer	キーのイルミネーションの輝度を下げます。 Auto： 車両のライトスイッチに連動して減光します。 Manual1： 常時減光します。 Manual2： Manual1よりもさらに減光します。 OFF： 減光しません。	Auto/Manual1 / Manual2/OFF
ILLUMI Effect	本機の操作に連動してキーのイルミネーションの輝度を変える演出効果を設定します。 OFF： 演出効果がありません。 ON： 本機を操作することにより、輝度が変わります。	ON/OFF
ILLUMI Music SYNC	音量に連動してイルミネーションの色を変える演出効果を設定します。 OFF： 演出効果がありません。 ON： 音量により色が変わります。	ON/OFF
Aspect Set ^{*2}	ビデオの映像を表示するアスペクト比を切り替えます。 Full： 16:9のワイド画面で表示します。 Normal： 4:3のスタンダード画面で表示します。	Full/Normal
Monitor Setup	Brightness	明るさを設定します。 -3 ~ 0 ~ +3
	Contrast	コントラストを設定します。 -3 ~ 0 ~ +3

※1 ピクチャーファイル再生中は設定を変更することができません。

※2 USB、iPodおよび内蔵メモリーソースのときに設定できます。

4 設定項目を選択する

5 設定値を選択する

MEMO

・ さらに詳細な設定が必要な項目は、各説明ページをご覧ください。

6 **MENU** を1秒以上押し続けてメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押し続けて終了する



本機の設定をする

全体の表示タイプを切り替える

ディスプレイ全体の表示タイプを切り替えます。

選択している音源によって、表示できる項目が異なります。

1 Display & Illumination設定画面を表示する

設定画面の表示方法は、「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.70)をご覧ください。

2 [Display Select] を選択する

3 [Type Select] を選択する

ボリュームノブを回すと、ディスプレイの表示が切り替わります。

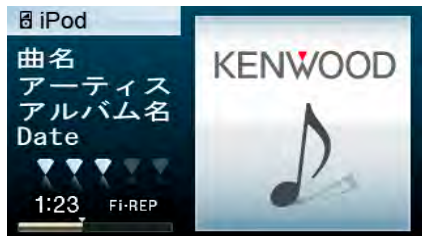
アートワーク (小)

(USB、内蔵メモリー、iPodのみ)



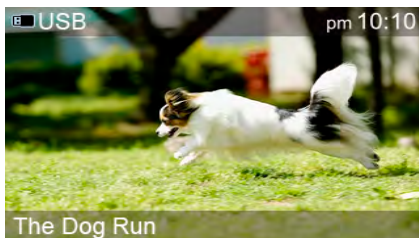
アートワーク (大)

(USB、内蔵メモリー、iPodのみ)



ビデオ

(ビデオ再生中のみ)

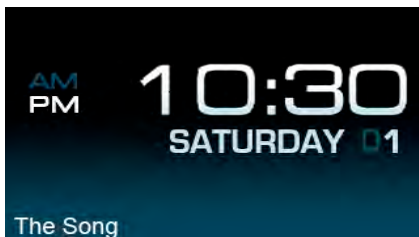


インフォメーション

(USB、内蔵メモリー、iPod以外)



クロック



MEMO

- 本機の [DISP] を押ししても、同様の設定ができます。
- 走行中は安全のため、ビデオの映像は表示しません。車両を停止してパーキングブレーキがかかると表示できます。

4 [MENU] を1秒以上押しメニュー画面に戻り、再度 [MENU] を押しで終了する



アートワークの表示／非表示を切り替える

アートワークまたはソースアイコンの表示／非表示を切り替えます。

MEMO

- この操作は、ディスプレイ全体の表示タイプが「アートワーク (小)」および「インフォメーション」の場合のみ設定できます。

1 Display & Illumination設定画面を表示する

設定画面の表示方法は、「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.70)をご覧ください。

2 [Display Select] を選択する

3 [Side Select] を選択する

ボリュームノブを回すと、ディスプレイの表示が「アートワークあり」→「アートワークなし」の順で切り替わります。

4 [MENU] を1秒以上押し続けてメニュー画面に戻り、再度 [MENU] を押し続けて終了する

テキストの表示を切り替える

ディスプレイに表示されるテキスト（アーティスト名や曲名、時計表示など）の項目を切り替えます。

1 Display & Illumination設定画面を表示する

設定画面の表示方法は、「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.70)をご覧ください。

2 [Display Select] を選択する

3 [Text Select] を選択する

4 テキスト項目示るを選択する

5 表示するテキストを選択する

6 [MENU] を1秒以上押し続けてメニュー画面に戻り、再度 [MENU] を押し続けて終了する

MEMO

- 選択している音源によって、表示できる項目は異なります。
- ディスプレイを「アートワーク (小)」または「インフォメーション」にして壁紙 (P.74) を設定している場合や、「クロック」に設定している場合は、テキストの切り替えはできません。
- 選択した情報がない場合は、代替の情報が表示されます。
- iPodの再生中にフォルダ名表示を選択すると、現在選択中のリスト項目に沿った名称が表示されます。
- iPodの場合、すべての文字が表示できないとき、選択したリストのファイル番号が表示されます。

表示	項目
"TITLE***"	曲名
"FLD***"	フォルダ名
"FILE***"	ファイル名



時計の表示タイプを切り替える

「クロック」に設定しているときの時計の表示タイプを切り替えます。

- 1 **Display & Illumination**設定画面を表示する
設定画面の表示方法は、「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.70)をご覧ください。
- 2 **Display Select** を選択する
- 3 **Graphic Select** を選択する
ボリュームノブを回すと、ディスプレイの表示が切り替わります。
- 4 **MENU** を1秒以上押ししてメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押しして終了する

壁紙を切り替える

USB機器から取り込んだ画像を壁紙として設定することもできます。

- 1 **DISP** を押ししてアートワーク(小) またはインフォメーション表示を選択する
- 2 **Display & Illumination**設定画面を表示する
設定画面の表示方法は、「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.70)をご覧ください。
- 3 **Display Select** を選択する
- 4 **Graphic Select** を選択する
ボリュームノブを回すと、「オリジナル」→「ユーザー壁紙」の順に壁紙が切り替わります。

MEMO

・ユーザー壁紙の取り込み方法は「壁紙を取り込む」(P.32)を参照してください。

- 5 **MENU** を1秒以上押ししてメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押しして終了する



イルミネーション色を設定する

キーのイルミネーション色を設定します。

1 Display & Illumination設定画面を表示する

設定画面の表示方法は、「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.70)をご覧ください。

2 **Key Color Select** を選択する

3 設定する色を選択する

“Color1” ~ “Color24”、または “Variable Scan” から選択します。

動作	操作
色の設定を切り替える	ボリュームノブを回します。
色の設定を決定する	ボリュームノブを押します。
お好みの色を調整する	ボリュームノブを1秒以上押します。 色の調整画面が表示されます。(P.75)

MEMO

- ・「ディスプレイの表示を設定しよう」の “ILLUMI Music SYNC” (P.71) を “OFF” に設定している必要があります。
- ・ “Variable Scan” は基本色が順番に切り替わります。
- ・ “User” には、お好みで調整した色を登録することができます。(P.75)

4 **MENU** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押し、終了する

イルミネーション色を調整する

キーのイルミネーション色をお好みで調整します。

1 Display & Illumination設定画面を表示する

設定画面の表示方法は、「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.70)をご覧ください。

2 **Key Color Select** を選択する

3 ボリュームノブを1秒以上押す

R (赤) G (緑) B (青) 調整画面が表示されます。

4 ボリュームノブを回して調整する色を選択する

ボリュームノブを押して、調整する色 (RGB) を決定します。

5 ボリュームノブを回して調整値を選択する

ボリュームノブを押すと色が決定されます。

MEMO

- ・ 「ディスプレイの表示を設定しよう」の “ILLUMI Music SYNC” (P.71) を “OFF” に設定している必要があります。
- ・ 調整した値は、設定値の “User” に登録されます。

6 **MENU** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押し、終了する



時計の設定を変更しよう

時計の日付や時刻を調整したり、タイムゾーンを切り替えて、2つの都市の時刻を同時に表示させることができます。

操作方法は、「メニュー画面を操作しよう」(P.20)を参照してください。

1 **MENU** を押す

2 **設定** を選択する

3 **Clock & Date** を選択する

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。

太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

表示	設定内容	設定値
Clock Adjust	時刻を設定します。(P.10) また、タイムゾーンを切り替えることもできます。(P.77)	—
Sub Clock Adjust	「Sub」の時計に表示されている時刻のサマータイムによる時差を調整します。	-1h/0h/+1h
Date Adjust	日付を設定します。(P.10)	—

4 設定項目を選択する

5 設定値を選択する

MEMO

- さらに詳細な設定が必要な項目は、各説明ページをご覧ください。

6 **MENU** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押して終了する

MEMO

- 時計の表示を切り替えることができます。詳しくは「時計の表示タイプを切り替える」(P.74)をご覧ください。



タイムゾーンを設定する

タイムゾーンを設定すると、ディスプレイの設定を「クロック」(P.72)にしたときに、2つの地域の時刻を表示させることができます。

MEMO

- タイムゾーンの設定をしても、時計の時刻は変わりません。「Sub」の時刻のみ時間が調整されます。
- 「Sub Clock Adjust」(P.76)で時刻を調整している場合、「Sub」の時計にはタイムゾーンによる時差と「Sub Clock Adjust」による時差によって調整された時刻が表示されます。

1 Clock & Date設定画面を表示する

設定画面の表示方法は、「時計の設定を変更しよう」(P.76)をご覧ください。

2 [Clock Adjust] を選択する

3 ボリュームノブを回して、「Home」または「Sub」を選択する

ボリュームノブを押して、項目を決定します。

4 ボリュームノブを回して地域を選択する

ボリュームノブを押して、地域を決定します。

5 [MENU] を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 [MENU] を押して終了する

MEMO

- 初期設定では「Home」には「Tokyo」、「Sub」には「New York」が設定されています。



お好みの音質に設定しよう (オーディオコントロール)

音響効果などを設定します。操作方法は、「メニュー画面を操作しよう」(P.20)を参照してください。

- 1** いずれかの音源を再生中に、ボリュームノブを押す
オーディオ設定画面が表示されます。
各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

表示		設定内容	設定値
SubWoofer Level		サブウーファアの音量を調整します。	-15 ~ 0 ~ +15
DSP Set		DSP機能のON/OFFを設定します。 Bypass : DSP機能が停止します。 Through : DSP機能を使用します。	Through /Bypass
Equalizer	Preset Equalizer	ジャンル別に設定されたイコライザーカーブを呼び出します。 イコライザーカーブは音源ごとに設定できます。	Natural/ User / Rock/Pops/ Easy/Top40/ Jazz/Game/ iPod ^{*1} (iPod接続時のみ)
	Manual Equalizer	音楽に合わせて独自のイコライザーカーブに調整できます。 (P.82)	—
BassBoost		低音を増強します。	OFF /STEP1/ STEP2
HIGHWAY-SOUND		ロードノイズによってかき消される小さな音を大きくして、聞き取りやすくすると共に、消されがちな低音の強調をすることで、ロードノイズに負けない音にします。 音源をラジオに設定している場合は調整できません。	OFF/STEP1/ STEP2/ STEP3
Supreme ^{*2}		Supreme機能のON/OFFを設定します。 音源をUSB、iPodおよび内蔵メモリーに設定しているときに表示されます。	ON /OFF
Position	Preset Position	聴く位置に合わせてプリセットポジションの設定をします。音像定位が補正されます。	ALL /FR/FL/ F ALL
	DTA ^{*3}	"Front"、"Rear"、"SW (SubWoofer)" のポジションをそれぞれ設定します。「Preset Position」で設定した値をスピーカーごとに微調整します。 INITIAL : 選択してボリュームノブを1秒以上押すと、設定値を初期状態に戻します。	L : 0 ~ 170 cm R : 0 ~ 170 cm
Balance		左右の音量バランスを調整します。	L15 ~ 0 ~ R15
Fader		前後の音量バランスを調整します。	F15 ~ 0 ~ R15



表示		設定内容		設定値
2Zone Rear Volume ^{*4}		デュアルゾーン機能使用時のリアスピーカーの音量を調整します。		0 ~ 15 ~ 35
SubWoofer		サブウーファー出力のON/OFFを設定します。		ON/OFF
Detailed Setup	Car Type	車種を選択することで簡単にタイムアライメントを設定し、スピーカー間の距離差を補正します。		Off/Compact/ Sedan/Wagon/ Minivan/SUV/ One Box
	Speaker Setting	FRONT	フロントスピーカーのサイズや取り付け位置を設定します。 また、ツイーターの有無を設定します。 None：ツイーターがない場合の設定です。	Location： Door/OnDash/ UnderDash Size： 4×6/5×7/6×8 /6×9/7×10/ O.E.M/10cm/ 13cm/16cm/ 17cm/18cm Tweeter： Use/None
		REAR	リアスピーカーのサイズや取り付け位置を設定します。 None：スピーカーがない場合の設定です。 O.E.M：車両標準で付いている再生帯域の狭いスピーカーの設定です。	Location： Door ^{*5} / Rear Deck ^{*5} / 2nd Row ^{*6} / 3rd Row ^{*6} Size： 4×6/5×7/6×8 /6×9/7×10/ None/O.E.M/ 10cm/13cm/ 16cm/17cm/ 18cm
		SUB W	サブウーファーのサイズを設定します。 None：スピーカーがない場合の設定です。	Size： 16cm/20cm/ 25cm/30cm/ 38cmOver/None
Car Type Adjust	「Car Type」で設定したスピーカー間の距離差を、使用する車両により合うように微調整します。(P.82) この機能は、「Preset Position」と合わせて使用します。		—	
X' Over	各スピーカーの補正をします。(P.83)		—	



本機の設定をする

表示		設定内容	設定値
Detailed Setup	NAV Guide ^{*7}	カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定します。この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。 ATT： ナビ音声ガイド時は、オーディオの音を小さくします。 INT： ナビ音声ガイドをフロントスピーカーから出力します。	OFF/ATT/INT
	NAV Volume ^{*8}	ナビ音声ガイド時の音量を設定します。	0 ~ 15 ~ 25
	Volume Offset	音源ごとの音量差を調整します。音源を切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます。	-8 ~ 0 (AUXの場合： -8 ~ 0 ~ +8)
	2Zone Select	デュアルゾーン機能のサブ音源を選択します。	OFF/USB(iPod)/INT MEM/AUX
	2Zone Front/Rear ^{*9}	デュアルゾーン機能のサブ音源の出力先（フロント/リア）を設定します。	Front/Rear
	Preset	DSP設定の登録および呼び出しを行います。1 ~ 6のメモリー番号に登録できます。(P.84) Memory：登録 Recall：呼び出し	-

※1 「iPod」を選択すると、さらに22種のiPod用イコライザーカーブから選択できます。

※2 USBまたはiPod音源を選択しているときに表示されます。

※3 サブウーファー左側とサブウーファー右側を1つのサブウーファーで使用する場合は、左右を同じ値に設定してください。

※4 「Detailed Setup」の「2Zone Select」が「OFF」に設定されているときは表示されません。

※5 「Car Type」の設定が、「Minivan」または「Minivan (Long)」以外の場合に設定できます。

※6 「Car Type」の設定が、「Minivan」または「Minivan (Long)」の場合に設定できます。

※7 この機能を「INT」に設定して、ナビ音声ガイドの割り込みをする場合は、AUX入力にナビゲーションシステムを接続してください。また、ナビ音声ガイドが割り込んだときに、ナビゲーションシステムでKSF（別売品のHDX-710などの音楽ファイル）を再生していると、ナビゲーションによってはKSFの音声とナビ音声ガイドと一緒に聞こえる場合があります。

※8 「Detailed Setup」の「NAV Guide」が「INT」に設定されているときに表示されます。

※9 「Detailed Setup」の「2Zone Select」が「OFF」に設定されているときは表示されません。



MEMO

- Supreme (サブプリーム) 機能とは、エンコードしたときに欠落してしまった高音域を、独自のアルゴリズムにより推定・補完する技術です。さらに、エンコード時に欠落した低音とボーカルの音声成分をも補完することで自然な音質を再現します。補完は圧縮フォーマット別に最適化され、ビットレートに合わせて処理されます。
なお、オーディオファイルのフォーマットやエンコード時の設定の関係によっては、効果がわかりにくい場合があります。
また、iPodの音に対しても低音とボーカルの音声成分の補完を行います。
- 2Zone (デュアルゾーン) 機能とは、メイン音源とサブ音源 (AUX入力) をフロントスピーカーとリアスピーカーに振り分けて出力する機能です。2Zone機能を使用する際は、以下の点にご注意ください。
 - 2ZoneをONに設定したときのメイン音源は **[SRC]** で設定します。
 - USB、iPod、内蔵メモリーのいずれかをメイン音源とサブ音源に同時に設定することはできません。
 - フロントスピーカーの音量はボリュームノブで設定します。
 - サブウーファーからは音声出力されません。
 - オーディオ設定の「Fader」、「SubWoofer Level」およびDSP機能は設定できません。
 - サブ音源のオーディオ設定は変更できません。
 - サブ音源の操作はできません。
 - Bluetoothオーディオは必ずフロントスピーカーから出力されます。「2Zone Front/Rear」を「Rear」に設定してください。
- 本機とケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続して使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオン、または「オーディオ接続設定」機能を設定してください。また、2001年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムを接続している場合は「音声割り込み」機能もオンに設定してください。なお、「NAV Guide」機能は1997年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムやケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。

2 設定項目を選択する

MEMO

- さらに詳細な設定が必要な項目は、各説明ページをご覧ください。

3 設定値を選択する

4 **[MENU]** を1秒以上押して終了する



本機の設定をする

イコライザーカーブを調整する

音楽に合わせて独自のイコライザーカーブに調整できます。

- 1 いずれかの音源を再生中に、ボリュームノブを押す
オーディオ設定画面が表示されます。
- 2 **Equalizer** を選択する
- 3 **Manual Equalizer** を選択する
- 4 調整する項目と設定値を選択する

バンド	設定値
BAND1 (62.5 Hz)	GAIN: -9 ~ +9 (+7) EFCT: OFF/ON
BAND2 (250Hz)	GAIN: -9 ~ +9 (-2)
BAND3 (1kHz)	GAIN: -9 ~ +9 (0)
BAND4 (4kHz)	GAIN: -9 ~ +9 (+4)
BAND5 (16kHz)	GAIN: -9 ~ +9 (+6)

MEMO

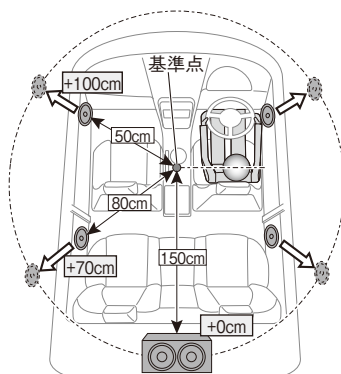
- 太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

- 5 **MENU** を1秒以上押し続けて終了する

タイムアライメントの設定

「Car Type」(P.79)で設定したスピーカー間の距離差を、使用する車両により合うように微調整します。

タイムアライメントの設定は、車両中心部からの各スピーカーの距離を指定することにより、自動的に割り出されて補正されます。



- (1) 前後と高さをフロントシートに座った人の耳の位置で、左右を車室内の中央に基準点を設定します。
- (2) 基準点からスピーカーまでの距離を測ります。
- (3) 一番遠いスピーカーの距離に合わせて距離の差を計算します。

- 1 いずれかの音源を再生中に、ボリュームノブを押す
オーディオ設定画面が表示されます。
- 2 **Detailed Setup** を選択する
- 3 **Car Type Adjust** を選択する



4 調整する項目と設定値を選択する

表示	項目	設定値
Front	フロントスピーカー	0 ~ 440cm
Rear	リアスピーカー	0 ~ 440cm
SW	サブウーファー	0 ~ 440cm

MEMO

- 太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

5 **MENU** を1秒以上押して終了する

クロスオーバーの設定をする

各スピーカーの補正をします。

1 いずれかの音源を再生中に、ボリュームノブを押す

オーディオ設定画面が表示されます。

2 **Detailed Setup** を選択する

3 **X' Over** を選択する

4 調整する項目を選択する

表示		設定内容
Front	FC	ハイパスフィルター カットオフ周波数
	SLOPE	ハイパスフィルター スロープ
Rear	FC	ハイパスフィルター カットオフ周波数
	SLOPE	ハイパスフィルター スロープ
SubWoofer	FC	ローパスフィルター カットオフ周波数
	SLOPE	ローパスフィルター スロープ

表示	設定内容
PHASE	ローパスフィルターの位相

5 設定値を選択する

設定内容	設定値
FC (ハイパスフィルターカット オフ周波数)	Through /30Hz/40Hz/ 50Hz/60Hz/70Hz/80Hz /90Hz/100Hz/120Hz/ 150Hz/180Hz/220Hz/ 250Hz
FC (ローパスフィルターカット オフ周波数)	30Hz/40Hz/50Hz/ 60Hz/70Hz/80Hz/90Hz /100Hz/120Hz/150Hz/ 180Hz/220Hz/250Hz/ Through
SLOPE (スロープ)	-6dB/ -12dB /-18dB/ -24dB
PHASE (位相)	Normal /Reverse

MEMO

- 太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

6 **MENU** を1秒以上押して終了する

▶次ページへつづく



本機の設定をする

MEMO

- Front FC/Rear FC :
設定された周波数（カットオフ周波数）よりも低い成分をカットします。サブウーファーを追加するとき、この機能を使って、出力から低域成分をカットして高域のみの音にします。“Through”に設定すると、この機能をOFFにできます。

Front SLOPE/Rear SLOPE :

Front FC/Rear FCで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。スピーカーに応じたスロープ設定により、特に超低域をカットすることにより、音にならない不要な振動を抑制できます。

SW FC :

設定された周波数（カットオフ周波数）よりも高い成分をカットします。サブウーファー出力をサブウーファー用として使用するとき、この機能を使って、出力から高域成分をカットして低域のみの音にします。“Through”に設定すると、この機能をOFFにできます。

SW SLOPE :

SW FCで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。

SW PHASE :

サブウーファーの位相（正相/逆相）を設定します。

DSP設定を登録する

DSP設定の登録を行います。
登録できる設定項目は以下のとおりです。

- ・ Manual Equalizer (P.82)
- ・ Position (P.78)
- ・ Car Type (P.79)
- ・ Speaker Setting (P.79)
- ・ Car Type Adjust (P.82)
- ・ X' Over (P.83)

- 1 いくつかの音源を再生中に、ボリュームノブを押す
オーディオ設定画面が表示されます。
- 2 **Detailed Setup** を選択する
- 3 **Preset** を選択する
- 4 **Preset Memory** を選択する
- 5 登録したいプリセット番号を選択する
- 6 **YES** を選択する
“Completed” と表示されたら登録が完了です。
- 7 **MENU** を1秒以上押して終了する

MEMO

- ・ 本機をリセット(P.103)すると、メモリー6の登録内容が初期化され、初期設定値として設定されます。
- ・ メモリー1とメモリー2は本機をリセットしても消去されません。



DSP設定を呼び出す

登録したDSP設定を呼び出します。

- 1 いずれかの音源を再生中に、ボリュームノブを押す
オーディオ設定画面が表示されます。
- 2 **Detailed Setup** を選択する
- 3 **Preset** を選択する
- 4 **Preset Recall** を選択する
- 5 呼び出したい設定のプリセット番号を選択する
- 6 **YES** を選択する
"Completed" と表示されます。
- 7 **MENU** を1秒以上押しして終了する



音源ごとに設定を変更しよう

音源ごとに用意されている機能の設定を変更することができます。操作方法は、「メニュー画面を操作しよう」(P.20) を参照してください。

1 設定を変更する音源に切り替えて、**MENU** を押す
メニュー画面が表示されます。

2 **設定** を選択する
各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

音源	表示	設定内容	設定値
ラジオ	Seek Mode	放送局の探しかたを設定します。 Auto 1：放送局を自動的に受信します。 Auto 2：登録されている放送局を順番に受信します。 Manual：1ステップずつ周波数が変わります。	Auto1 /Auto2/ Manual
	Auto Memory	受信状態の良い放送局を自動的に登録します。(P.51)	—
	Forced MONO ^{*1}	FMステレオ放送をモノラルで受信します。 受信状態の悪いFM放送局を聴いているときにモノラルに設定すると、雑音が軽減されて聴きやすくなることがあります。	ON/OFF
iPod	Skip Search ^{*2}	曲やビデオを探すときのスキップする割合を設定します。(P.45)	0.5% /1%/5%/10%
	Device F/W Version	本機のファームウェアのバージョンを表示します。	—
	Delete My Playlist	My Playlistのリストを削除します。(P.47)	—
	オーディオブックスピード	オーディオブックの再生スピードを設定します。	Slower/Normal/ Faster
	Sound Check	iPodと同じ音量レベルで再生します。iTunesで音量調整を設定する必要があります。	ON/OFF
AUX	Name Set	音源をAUXに切り替えたときに表示される名前を設定します。	AUX /DVD/ PORTABLE/ GAME/VIDEO/TV



音源	表示	設定内容	設定値
USB	Skip Search ^{※2}	Music Editorでデータを付加している場合に、ファイルを探すときのスキップする割合を設定します。(P.31)	0.5%/1%/5%/10%
	Device F/W Version	本機のファームウェアのバージョンを表示します。	—
	Device F/W Update ^{※3}	ファームウェアをアップデートします。	—
Internal Memory	Internal Memory Delete	内蔵メモリーのフォルダまたはファイルを削除します。(P.36)	—
	Internal Memory Format	内蔵メモリーのフォーマットを実行し、ファイルをすべて削除します。(P.35)	—
すべての音源	Clock & Date	本機の時計と日付を合わせます。(P.10)	—
	Display & Illumination	ディスプレイの表示や色に関する設定を行います。(P.70)	—

※1 FMラジオ受信時のみ。ONに設定すると、電力線などの強い電場により音質が落ちることがあります。そのような場合は、OFFに設定してください。

※2 Skip Searchの設定はiPodとUSBで共通です。

※3 ファームウェアのアップデート方法は、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.kenwood.co.jp/faq>

3 設定項目を選択する

4 設定値を選択する

5 **MENU** を1秒以上押し続けてメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押し続けて終了する

Bluetoothの設定を変更しよう

ハンズフリーやBluetoothオーディオなど、Bluetoothに関する設定をします。操作方法は、「メニュー画面を操作しよう」(P.20)を参照してください。

1 **iPod** を1秒以上押す
Bluetoothモードになります。

2 **BT Settings** を選択する
各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。ハンズフリー選択時とBluetoothオーディオ選択時では、表示される項目が異なります。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

MEMO

- 以下の操作でも設定項目を表示できます。
 - MENU** を押し、**設定** を選択する
 - BT Settings** を選択する

表示		設定内容	設定値
Pairing	Device Registration	Bluetooth機器を本機に登録（ペアリング）します。(P.57)	—
	Phone Selection	登録してある複数のBluetooth機器から、使用するデバイスを選択します。(P.90)	—
	Audio Selection		
	Special Device Select	通常に登録（ペアリング）ができない特殊なデバイスを登録します。(P.94)	—
	Device Delete	登録済みのBluetooth機器を削除します。(P.94)	—
SMS Download		携帯電話に届いたショートメッセージ（SMS）をダウンロードして、本機で読めるようにします。(P.90)	—
Voice Tag	Phonebook Name Edit	電話帳に音声で呼び出すためのボイスタグを登録します。ボイスタグは最大35件まで登録できます。(P.92)	—
	Phonebook Type Edit	電話番号のカテゴリ（種類）に音声で呼び出すためのボイスタグを付けます。(P.93)	—
Detailed Setup	PIN Code Edit	Bluetooth機器側から登録（ペアリング）する際に必要なPINコードを設定します。(P.95)	—
	Auto Answer ^{*1}	着信コールの経過時間で自動的に電話を受け（応答）機能です。 OFF：自動着信しません。 0s：すぐに自動着信します。 1s～99s：1秒から99秒で自動着信します。	OFF/0s/ 1s～8s～99s



	表示	設定内容	設定値
Detailed Setup	Bluetooth HF/ Audio	Bluetoothオーディオおよび受話音声を出力するスピーカーを設定します。 FRONT：フロントの左右のスピーカーから出力します。 ALL： フロントおよびリアの左右のスピーカーから出力します。	FRONT/ALL
	Call Beep	この機能をONにすると、携帯電話に着信があった場合にスピーカーからビープ音を鳴らして着信を知らせます。	ON/OFF
	BT F/W Update ^{*2}	ファームウェアのバージョン情報を表示します。	—
	Mic Gain ^{*3}	通話のときのマイクの音量を調整します。「+」に設定すると、音量が大きくなります。	-3 ~ 0 ~ +3
	Noise Reduction ^{*3}	周囲の雑音を除去するノイズリダクション機能を設定します。マイクの音量は変わりません。「+」に設定すると、除去の度合いが大きくなります。	-3 ~ 0 ~ +3
	Echo Cancel Level ^{*3}	マイクとスピーカー間に生じるエコーやハウリングを低減するエコーキャンセル機能を設定します。「+」に設定すると、除去の度合いが大きくなります。	-2 ~ 0 ~ +2

※1 携帯電話の自動着信設定を本機の設定より早い時間に行っていると、携帯電話の設定が優先されます。また、割り込み通話中の着信には動作しません。

※2 ファームウェアのアップデート方法は、下記ホームページをご覧ください。
<http://www.kenwood.com/cs/ce/bt>

※3 「KCA-BT300」を接続したときのみ設定できます。

3 設定項目を選択する

4 設定値を選択する

MEMO

・ さらに詳細な設定が必要な項目は、各説明ページをご覧ください。

5 を1秒以上押す

接続するBluetooth機器を選択する

登録してある複数のBluetooth機器から、使用する機器を選択します。

- 1 BT Settings画面を表示する
設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう」(P.88)をご覧ください。
- 2 **Pairing** を選択する
- 3 **Phone Selection**、または**Audio Selection** を選択する
機器名が表示されます。

MEMO

- ハンズフリーを利用する場合は**Phone Selection**を、Bluetoothオーディオを利用する場合は**Audio Selection**を選択します。

- 4 使用する機器を選択する
ボリュームノブを押すたびに接続状態が変わります。

表示	内容
 (青)	接続中
 (灰)	接続待機中
"" (空白)	接続解除

MEMO

- 既にBluetooth機器が選択されている場合は、既存の選択を解除してから新しいBluetooth機器を選択してください。

- 5 **iPod** を1秒以上押す

ショートメッセージ(SMS)をダウンロードする

携帯電話に届いたショートメッセージ(SMS)をダウンロードして、本機で読めるようにします。

- 1 BT Settings画面を表示する
設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう」(P.88)をご覧ください。
- 2 **SMS Download** を選択する
- 3 ボリュームノブを押す
ディスプレイに“SMS Downloading”と表示され、ダウンロードが開始されます。ダウンロードが完了すると“Completed”と表示されます。
- 4 **iPod** を1秒以上押す

MEMO

- 携帯電話がBluetoothでショートメッセージを転送する機能をもっている必要があります。また、携帯電話側の設定が必要な場合があります。
- 携帯電話からショートメッセージをダウンロードすると、携帯電話内の未開封メッセージは開封済みとなります。
- 未読メッセージと既読メッセージは、それぞれ75件までダウンロードできます。



ショートメッセージサービス (SMS) を利用する

新着メッセージが届いたときはメッセージが表示されます。



- 走行中の運転者は、ショートメッセージを読まないでください。
事故の原因となります。

新着メッセージが届くと

“SMS RECEIVED” と表示されます。
何か操作を行うと表示が消えます。

ショートメッセージを表示する

- 1 **iPod** を1秒以上押す
Bluetoothモードになります。
- 2 **SMS Inbox** を選択する
メッセージリストが表示されます。
- 3 リストからメッセージを選択する
メッセージが表示されます。

MEMO

- **DISP** を押すごとに、電話番号、名前、メッセージ受信日を切り替えます。
- ボリュームノブを回すと、メッセージがスクロールします。
- ボリュームノブを再度押すと、メッセージ表示に戻ります。

- 4 **MENU** を押す
SMS受信モードを終了します。

- 5 **iPod** を1秒以上押す
Bluetoothモードを終了します。

MEMO

- 未開封メッセージがリストの先頭に表示されます。その他は受信日順になります。
- 携帯電話と接続していないときに届いたショートメッセージは表示できません。はじめにショートメッセージのダウンロードを行ってください。
- ショートメッセージのダウンロードを行っている最中は、ショートメッセージを表示できません。

電話帳にボイスタグを設定する

電話帳に音声で呼び出すためのボイスタグを登録します。ボイスタグは最大35件まで登録できます。

- 1 BT Settings画面を表示する
設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう」(P.88)をご覧ください。
- 2 **Voice Tag** を選択する
- 3 **Phonebook Name Edit** を選択する
- 4 ボイスタグを登録する名前を検索する

動作	操作
次の電話番号に移動する	ボリュームノブを回します。
次の名前に移動する	 を押します。

MEMO

- **DISP** を押すと、名前と電話番号の表示を切り替えることができます。
- 既にボイスタグが登録されている場合は、名前の前に“*”が表示されます。

- 5 ボリュームノブを押す
名前が選択されます。
- 6 行う操作を選択する

表示	操作
Phonebook Name Registration	ボイスタグを登録します。
Phonebook Name Check*	ボイスタグを再生します。
Phonebook Name Delete*	ボイスタグを削除します。

*ボイスタグを登録してある名前のみ表示。

●Phonebook Name Registration (登録) を選択した場合

- 7 ディスプレイに“Enter Voice 1”と表示され、ビーブ音が鳴ったら2秒以内に名前を発話する
ディスプレイに“Enter Voice 2”と表示されます。
- 8 ビーブ音が鳴ったら2秒以内に手順7と同じ名前を発話する
ボイスタグが認識されると、“Completed”と表示されます。
- 9 ボリュームノブを押す
ボイスタグの登録が終了します。

MEMO

- 音声認識されないときはメッセージを表示します。メッセージの表示後にボリュームノブを押すと、再度音声の登録ができます。

10 **iPod** を1秒以上押す

●Phonebook Name Check (再生) を選択した場合

登録されているボイスタグを再生して、手順4に戻ります。

●Phonebook Name Delete (削除) を選択した場合

- 7 **YES** を選択する
ボイスタグを削除して手順4に戻ります。

MEMO

- ボイスタグの設定中は、オーディオの音声は出力されません。



カテゴリのボイスタグを設定する

電話番号のカテゴリ（種類）に音声で呼び出すためのボイスタグを付けます。

1 BT Settings画面を表示する
設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう」(P.88)をご覧ください。

2 **Voice Tag** を選択する

3 **Phonebook Type Edit** を選択する

4 設定するカテゴリを選択する

表示	内容
General	一般
Home	自宅
Office	会社
Mobile	携帯電話
Other	その他

5 行う操作を選択する

表示	操作
Phonebook Type Registration	ボイスタグを登録します。
Phonebook Type Check*	ボイスタグを再生します。
Phonebook Type Delete*	ボイスタグを削除します。

※ボイスタグを登録してある名前のみ表示。

以降の操作は、「電話帳にボイスタグを設定する」の「Phonebook Name Registration (登録) を選択した場合」(P.92)の手順7～9を参照して、すべてのボイスタグを登録します。

6 **iPod** を1秒以上押す

MEMO

- カテゴリのボイスタグは5種類すべて登録してください。登録されていないと音声で電話帳を呼び出すことができない場合があります。



本機の設定をする

特殊なBluetooth機器を登録する

本機からも携帯電話からも登録できない機器を本機に登録する方法を説明します。

- 1 BT Settings画面を表示する
設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう」(P.88)をご覧ください。
- 2 **Pairing** を選択する
- 3 **Special Device Select** を選択する
リストが表示されます。
- 4 機器名を選択する

動作	操作
機器名を切り替える	ボリュームノブを回します。
機器を決定する	ボリュームノブを押します。

“Completed”と表示されたら完了です。以降の操作は、「Bluetooth機器を登録する」(P.57)を参照して登録(ペアリング)を行ってください。

MEMO

- 機器名が一覧に表示されない場合は“Other Phones”を選択して登録を試してください。

Bluetooth機器の登録を削除する

登録済みのBluetooth機器を削除します。

- 1 BT Settings画面を表示する
設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう」(P.88)をご覧ください。
- 2 **Pairing** を選択する
- 3 **Device Delete** を選択する
デバイス名が表示されます。
- 4 削除するBluetooth機器を選択する
- 5 **YES** を選択する
“Delete”と表示されたら削除完了です。
- 6 **iPod** を1秒以上押す

MEMO

- 携帯電話の登録を削除すると、電話帳、履歴、SMS、およびボイスタグのデータも削除されます。



PINコードを登録する

Bluetooth機器側から本機に登録する際に必要なPINコードを設定します。

- 1** BT Settings画面を表示する
設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう」(P.88)をご覧ください。
- 2** **Detailed Setup** を選択する
- 3** **PIN Code Edit** を選択する
- 4** PINコードを入力する
PINコードの桁を選択した後、数字を選択します。
- 5** ボリュームノブを1秒以上押す
PINコードが登録されます。
“Completed” と表示されたら登録完了です。
- 6** **iPod** を1秒以上押す

MEMO

- 初期設定は“0000”に設定されています。
- 設定できるPINコードは8桁までの数字です。



初期設定を変更しよう



● AV Out (iPod VIDEO OUT) はフロントモニターには接続しないでください。
また、運転者は接続したモニターの映像を見ないでください。事故の原因となります。

操作時の音に関する設定などを行います。操作方法は、「メニュー画面を操作しよう」(P.20)を参照してください。

1 音源を STANDBYに設定する

2 **MENU** を押す

3 **Initial Settings** を選択する

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

表示	設定内容	設定値
Tuner Preset Type	登録した放送局を呼び出すボタンを設定します。 Type Normal：通常の放送局の登録ボタンになります。 Type Mixed：AM/FMの区別なく登録された放送局の登録ボタンになります。	Type Normal / Type Mixed
Source Select	SRC を押ししたときの音源選択方法を切り替えます。 1： SRC を押しごとに音源の表示が切り替わります。 2：ボリュームノブを回して音源を選択します。	1/2
Beep	操作時のピープ音を設定します。	ON/OFF
漢字優先 ^{*1}	CDテキストなどが漢字およびカタカナまたはローマ字で記録されているディスクを聴いているときに、これらを漢字で表示するか、カタカナまたはローマ字で表示するか設定ができます。 ON：漢字で表示(漢字が登録されていない場合は、カタカナまたは英/数文字で表示) OFF：カタカナまたは英/数文字で表示	ON/OFF
Built in AUX	音源選択時にAUXが表示されます。 ON：AUX音源に切り替えたときに、内部AUX端子に接続した外部機器の音声が出力されます。また、デュアルゾーン機能を使って、他の音源と同時に出力することもできます。常に外部機器を内部AUX端子に接続しているときはこの設定にします。 OFF：内部AUX端子を使用しないときに選択します。	ON/OFF



表示	設定内容	設定値
Built in AMP	内蔵アンプの出力をON/OFFします。 フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるときは、この機能をOFFに設定することで、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。 内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトから出力される音質を向上させることができます。	ON/OFF
AV Out Set	iPodの映像と音声をiPod VIDEO/AUDIO OUT端子からの出力専用を設定します。	ON/OFF
R-CAM Interruption	リアカメラの映像を表示するか設定します。 ON： 車両のセレクトレバーをリバースにすると、リアカメラの映像を表示します。 OFF： リアカメラの映像を表示しません。	ON/OFF
R-CAM Mirror	リアカメラの映像の表示方法を設定します。 ON： 左右を反対（鏡像）にして表示します。 OFF： 映像をそのまま表示します。	ON/OFF
System F/W Update ^{*2}	ファームウェアをアップデートします。	—

※1 別売品のディスクチェンジャーを接続してCDを聴いているときのみ有効になります。

※2 ファームウェアのアップデート方法は、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.kenwood.co.jp/faq>

4 設定項目を選択する

5 設定値を選択する

6 **MENU** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押して終了する



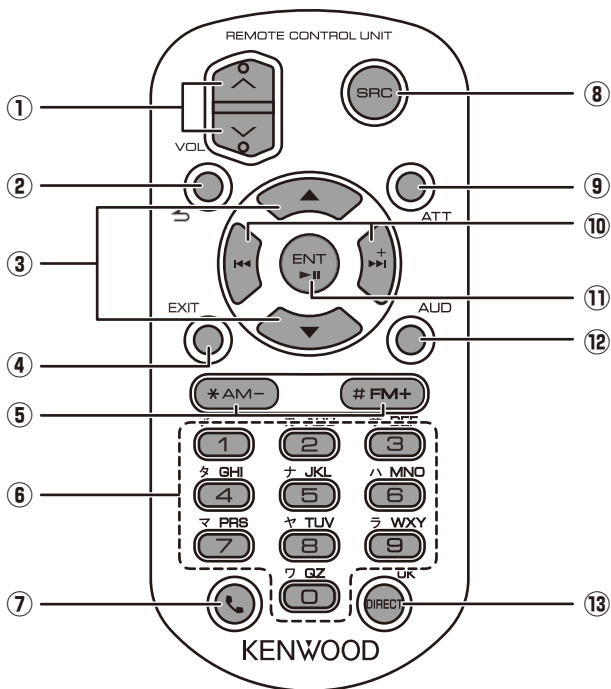
リモコンを操作する

本機を付属のリモコン（RC-405J）で操作することができます。



注意

- リモコンをダッシュボードの上など、高温になる場所に置かないください。本機の変形など故障の原因となります。
- 電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。万一、電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 指定以外の電池を使用したり、電池を充電、ショート、分解したりしないでください。破裂、液漏れによる火災、けがの原因となることがあります。
- 電池を直射日光（炎天下）や炎のそばなどの高温となる場所に置いたり、火の中に入れてたりしないでください。発熱・破裂・発火による火災、けがの原因となることがあります。
- リチウム電池を交換するときは同型または同等タイプのもものと交換してください。異なる種類の電池と交換すると、破裂、液漏れによる火災、けがの原因となることがあります。





番号	ボタン名称	機能
①	ボリュームボタン	• 音量を調整します。
②	リターンボタン	• 設定操作時、一つ前の項目に戻ります。 • USB機器、内蔵メモリーおよびiPodでのファイルサーチモード中、リストで項目を選択しているときに、一つ上のフォルダに戻ります。
③	▲／▼ボタン	• 設定操作時、リストの項目を選択します。 • USB機器、内蔵メモリーおよびiPod再生時、ファイルサーチモードに切り替えます。(P.30、P.40)
④	EXITボタン	• 操作中のモードを解除します。
⑤	AM / FMボタン	• ラジオのバンドを切り替えます。(P.50) • USB機器、内蔵メモリーのフォルダを選択します。 • ディスクチェンジャー再生時、ディスクを切り替えます。 • 電話番号入力中、「*」 / 「#」を入力します。*
⑥	数字ボタン	• ラジオのプリセット番号を入力します。 • ダイレクトサーチモードで検索する数字を入力します。 • 電話番号を入力します。* (P.59)
⑦	電話ボタン*	• Bluetoothモードに切り替えます。(P.59) • 電話を受けます。(P.63) • 通話中、割り込み通話に切り替えます。(P.64)
⑧	ソースボタン	• 音源を切り替えます。(P.18) • 通話を終了します。(P.63)また、通話中に現在の通話を終了して、保留中の電話に出ます。* (P.64)
⑨	アッテネーターボタン	• ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押すと、元の音量に戻ります。
⑩	シークボタン	• ラジオの周波数を切り替えます。(P.50) • USB機器、内蔵メモリーおよびiPodのファイルを選択します。 • 電話番号入力中、数字の削除 / 「+」の入力を行います。*
⑪	決定ボタン	• 一時停止 / 再生します。 • USB機器、内蔵メモリーおよびiPodで、ファイルサーチ中に選択したファイルを再生します。 • 設定操作時、選択した項目を決定します。 • 通話中、プライベート通話とハンズフリー通話を切り替えます。* (P.64)
⑫	オーディオボタン	• オーディオコントロールモードに切り替えます。(P.78)
⑬	ダイレクトボタン	• ダイレクトサーチのオン / オフを切り替えます。 • 電話を発信します。* (P.59)

* 別売品の「KCA-BT300」または「KCA-BT200」接続時に操作できます。



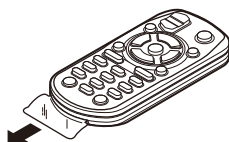
リモコンを操作する

MEMO

- ダイレクトサーチは、ラジオ、ビデオ・オーディオファイル、ディスクチェンジャー、テレビ選択時に操作できます。
- ラジオ受信時は、**[DIRECT]** ボタンを押して聴きたい周波数を数字ボタンで入力します。数字を入力後、**[▶▶]** または **[◀◀]** ボタンを押して決定します。
[DIRECT] ボタンを押さずに数字（1～12）を入力して **[ENT]** ボタンを押すと、入力した数字に登録（プリセット）されている放送局を受信します。（P.50）
- ビデオ・オーディオファイル再生時は、**[DIRECT]** ボタンを押して再生したいファイル番号またはトラック番号を数字ボタンで入力します。数字を入力後、**[▶▶]** または **[◀◀]** ボタンを押して決定します。
- ディスクチェンジャー再生時も同様に、**[DIRECT]** ボタンを押します。
再生したいディスク番号を入力後、**[#FM+]** または **[*AM-]** ボタンを押して決定します。
再生したいトラック番号を入力後、**[▶▶]** または **[◀◀]** ボタンを押して決定します。
- テレビ操作時は、**[DIRECT]** ボタンを押してチャンネル番号を入力します。
数字を入力後、**[▶▶]** または **[◀◀]** ボタンを押して決定します。

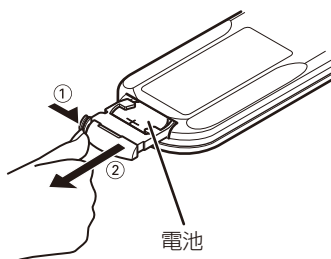
リモコンを準備する

リモコン本体から電池のシートを矢印の方向に引き出してください。



電池を交換する

市販のボタン電池（CR2025）を使用します。
電池の+極と-極を合わせ、図のように本体のケースにセットしてください。



- 使用済みの電池を廃棄する場合は、プラス、マイナス端子にテープを貼るなどして絶縁状態にしてから、各地方自治体の指示に従って廃棄してください。導電性のある金属片などと一緒に廃棄するとショートを起こし、破裂、発火による火災、けがの原因となることがあります。

困ったときに

故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
操作ボタンを押しても動作しない	システムに異常が発生している。	本機をリセットしてください。(P.103)
チューナーの感度が悪い	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを十分に伸ばしてください。
	アンテナコントロール電源が接続されていない。	クイックスタートガイドを参照して、正しく接続し直してください。
	アンテナ入力がきちんと接続されていない。	アンテナ入力を確実に接続してください。
オーディオ/ビデオファイル再生中に音飛びする	ファイル作成時に問題があった。	ファイルを作成し直すか、ほかのUSB機器を使用してください。
オーディオ/ビデオファイルの曲がスキップする	対応していないオーディオ/ビデオファイルを再生した。	www.kenwood.com/ce/cs/audiofile/ を参照して、本機で再生できるオーディオ/ビデオファイルに変換してください。
演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない	オーディオファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。	—
iPodでの「ソングス」の曲数と本機での「ソングス」の曲数が違う	本機にiPodを接続すると、「ソングス」ではポッドキャストファイルは再生されません。	故障ではありません。
USB機器を認識しない、またはUSB機器のオーディオファイルの音が出なくなった	USBコネクタが抜けている。	USB機器やUSBケーブルのコネクタを確実に接続してください。
ハンズフリー通話の受話音声小さい	ハンズフリー通話用の音量が小さくなっている。	ハンズフリー通話用のボリュームは独立しています。「いろいろな操作」(P.64)を参照して、ハンズフリー通話中に音量を調節してください。
iPod VIDEO/AUDIO OUT端子から映像が出ない	iPod出力を設定していない。	「iPodビデオの映像を外部モニターに出力する」(P.47)を参照して、AV Out Setをオンに設定してください。
	内蔵メモリーソースを選択している。	内蔵メモリーソースとiPodソースを同時に使用できないため、iPod VIDEO/AUDIO OUT端子からの出力が停止します。

▶次ページへつづく

困ったときに

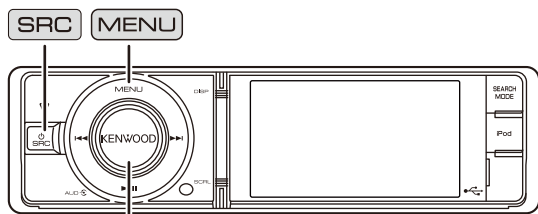
症状	原因	処置
リアスピーカーから音が出ない	Bluetooth機器を使用している。 Bluetooth HF/Audioが“Front”に設定されている。	Bluetooth HF/Audio (P.89) を“All”に設定すると、Bluetooth機器を使用中もリアスピーカーから音が出ます。
着信時に呼び出し音が鳴らない	携帯電話によっては着信音が鳴らない場合があります。	着信呼出のビープ音設定(P.89)をオンに設定すると着信をビープ音でお知らせします。
音声を認識しない	車両の窓を開けている。	周囲の雑音が大きいと認識しづらくなります。車両の窓を閉めて雑音を少なくしてください。
	音声が小さい。	音声が小さいと認識しづらくなります。マイクに向かって、少し大きめに自然な発声で話してください。
	登録した人以外の方がボイスタグを発声している。	ボイスタグを登録した本人だけの音声を認識できません。
Bluetoothオーディオプレーヤーが登録（ペアリング）できない	PINコードが固定されている。	Bluetoothオーディオプレーヤーの説明書にPINコードが記載されている場合は、「PINコードを登録する」(P.95)で設定してから登録してください。または、PINコードの指定がない場合は「0000」を試してください。
Bluetoothオーディオプレーヤーの音声が途切れる	本機とオーディオプレーヤーの距離が離れている。	オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。
	他のBluetooth機器が通信を妨げている。	他のBluetooth機器の電源を切ってください。または他のBluetooth機器を遠ざけてください。
	他のBluetooth機器、または他のプロファイルで通信を行っている。	電話帳やSMSのダウンロードを行うと音声が途切れることがあります。
接続したTVユニットでUSB、内蔵メモリー音源に切り替えても、USBや内蔵メモリーの表示・音声案内をしない	TVユニットなどでは、USB、内蔵メモリー音源はCDとして認識されるため、CDの表示・音声案内がされている。	USB、内蔵メモリー音源で切り替えたときは、表示は変わらず音声案内もされません。

異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かな?と思ったら」(P.101)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、下記を参照して本機をリセットしてください。

本機のリセット方法

- ① ボリュームノブおよび **MENU** を押しながら、
- ② **SRC** を3秒以上押す



ボリュームノブ

本機をリセットしても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源を切り、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに「AUX EXT」と表示される。
- KCA-S220A、CA-C1AX/CA-C2AXが接続されていないときに「AUX EXT」と表示される。

困ったときに

こんなメッセージが表示されたら

操作ができない場合のメッセージです。以下の処置にしたがって対応してください。

メッセージ	原因	処置
TOC Error :	ディスクが異常に汚れています。	ディスクをクリーニングしてください。
	ディスクに傷が多く付いています。	傷のあるディスクはご使用にならないください。
	ディスクが裏返しになっています。	ディスクを正しい向きで挿入直してください。
	ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていません。	ディスクを入れてください。
Error 05 :	ディスクの読み込みができません。	ディスクを正しい向きで挿入直してください。
Read Error :	接続しているUSB機器または iPod のファイルシステムが破損しています。	USB機器 / iPod のファイル、フォルダをコピーし直してください。 それでもエラー表示が消えない場合は、USB機器 / iPod をフォーマットするか、他のUSB機器 / iPod を使用してください。
Unsupported File :	サポートされていないフォーマットのオーディオファイルを再生しようとしてしました。	本機でサポートされているフォーマットのオーディオファイルをご使用ください。
Copy Protection :	再生しようとしたオーディオファイルは、コピープロテクトされています。	ファイルのコピープロテクトを解除してください。
Eject :	ディスクマガジンがセットされていません。	ディスクマガジンをセットしてください。
	ディスクマガジンが完全に入っていません。	ディスクマガジンを奥まで入れてください。
Err No Matching :	ボイスタグが異なる、登録されていないなどで認識できません。	「電話帳にボイスタグを設定する」(P.92)を参照して、登録したボイスタグを確認してください。
Too Long :	単語または発話が長すぎて認識できません。	もっと短く発話してください。
Too Loud :	声が大きすぎて認識できません。	もっと小さな声で発話してください。
Too Soft :	声が小さすぎて認識できません。	もっと大きな声で発話してください。
Memory Full :	電話帳に登録できるボイスタグの件数を超えました。登録できる件数は35件までです。	「電話帳にボイスタグを設定する」(P.92)を参照して、不要なボイスタグを削除してください。

メッセージ	原因	処置
HF Disconnect :	携帯電話と通信できません。	他の携帯電話が通信を妨げている可能性がある場合、他の携帯電話の電源を切るか遠ざけてください。
HF Error 07 :	メモリーにアクセスできません。	本機の電源をオフ/オンします。表示が出続ける場合は本機をリセットしてください。(P.103)
HF Error 68 :	携帯電話と通信できません。	本機の電源をオフ/オンします。表示が出続ける場合は本機をリセットしてください。(P.103)
Unknown :	Bluetooth機器を検出できません。	場所を移動してから Bluetooth機器の検索を行ってください。

本機のシステムに不具合があるときや操作が受け付けられないときのメッセージです。以下の処置にしたがって対応してください。

メッセージ	原因	処置
ERROR 77/ Mecha Error :	何らかの原因で正常に動作していません。	本機をリセットしてください。(P.103) それでも表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
ERROR 99 :	ディスクマガジンが故障している、または何らかの原因で正常に動作していません。	ディスクマガジンを確認してください。 表示が消えないときは本機をリセットしてください。(P.103) 上記の処置を施しても表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
Reading :	USB機器やiPodに収録されているデータのチェック中です。	チェックが終われば正常に作動します。
Protect (点滅) :	スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシーに接触したために、保護回路が働きました。	スピーカーコードを適切に配線/絶縁しなおしてから、本機をリセットしてください。(P.103) それでも表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
Hold Error :	ディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になったため、保護回路が働き、動作しなくなっています。	本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
Load :	ディスクチェンジャー内のディスクを交換中です。	交換が終われば正常に作動します。
No Device :	USB機器 / iPodが接続されていないときに、音源をUSB / iPodに切り替えました。	USB / iPod以外の音源に変えてください。 その後、USB機器 / iPodを接続し、再度音源をUSB / iPodにしてください。

困ったときに

メッセージ	原因	処置
N/A Device :	サポートされていないUSB機器 / iPodを接続しました。	接続したUSB機器 / iPodがサポートされているか確認してください。
	USB機器 / iPodの接続に失敗しました。	サポートされているUSB機器 / iPodについては、「 本機で使えるメディアとファイル 」(P.24)、「 iPodについて 」(P.37)を参照してください。それでも表示が消えない場合は、いったんUSB機器/iPodを取り外し、再び接続してください。
No Media File/Error 15 :	接続されているUSB機器 / iPodには、再生できるフォーマットのファイルがありません。	再生可能なフォーマットのファイルが入ったUSB機器 / iPodを接続してください。
USB ERROR :	接続されているUSB機器 / iPodに不具合が発生した可能性があります。	USB機器 / iPodを取り外し、電源をオフにした後、再度オンにしてください。それでも表示が消えない場合は、他のUSB機器 / iPodをお使いください。
iPod Error :	iPodとの接続に不具合が発生しています。	「 iPodについて 」(P.37)を参照して、接続しているiPodが本機で使えるiPodかどうか確認してください。
		iPodをiPod接続ケーブルから取り外し、接続し直してください。
		iPodを本機から取り外し、iPodのリセット(設定メニュー内の「リセット」とは異なります)を行った後、再度本機に接続してください。iPodのリセット方法についてはアップル社のウェブサイトを参照してください。
USB REMOVE (点滅) :	USB機器 / iPodの取り外しモードになっています。	USB機器 / iPodは、安全に取り外すことができます。
Over Capacity	USB機器からの転送中に、内蔵メモリーの空き容量が不足したため、転送を中止しました。	不要なファイルを削除してから転送してください。
Copy Error	ファイルを転送できないデジタルオーディオプレーヤーです。	ファイルが転送できるデジタルオーディオプレーヤーで操作してください。
	USB機器の接続が解除されたなどして、転送できませんでした。	USB機器の接続を確認し、もう一度操作してください。
Delete Error または Format Error	削除またはフォーマットが、何らかの原因で正常に行えませんでした。	もう一度操作してください。時間がかかる場合があります。再度、表示される場合はお近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

メッセージ	原因	処置
Can't Download または Download Error	ファイルのダウンロード中に読み込みに失敗しました。	再度ダウンロードを行ってください。
	何らかの原因で正常に動作していません。	再度ダウンロードを行ってください。再度、表示される場合はお近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
Writing Error	ファイルの書き込みに失敗しました。	再度ダウンロードを行ってください。
No Voice :	音声認識できませんでした。	もう一度発声してください。
Connect NG :	Bluetooth機器に接続できません。	接続を確認してください。
Device Full :	すでにBluetooth機器が5台登録されておりこれ以上登録できません。	「Bluetooth機器の登録を削除する」(P.94)を参照して、デバイスを削除してください。
No Data :	発信履歴がありません。	履歴があればエラーメッセージは表示されません。
	着信履歴がありません。	
	不在着信履歴がありません。	
	電話帳にデータがありません。	
No Entry :	携帯電話を機器登録（ペアリング）していません。	「Bluetooth機器を登録する」(P.57)を参照して、携帯電話を登録してください。
No Number :	電話番号の通知がない着信時に表示します。	電話番号の通知がある着信時は、エラーメッセージは表示されません。
	電話番号のデータがない時に表示します。	電話番号のデータがある時は、エラーメッセージは表示されません。
No Message :	SMSのデータがありません。	SMSのデータがある時は、エラーメッセージは表示されません。
No Phonebook :	電話帳にデータがありません。	「電話帳をダウンロードする」(P.61)を参照して、電話帳のデータを本機にダウンロードしてください。
No Voice Data :	電話帳にボイスタグが登録されていません。	「電話帳にボイスタグを設定する」(P.92)を参照して、電話帳にボイスタグを登録してください。
Pairing Failed :	ペアリングエラーです。	「使用できるBluetooth対応携帯電話」(P.56)を参照して、対応する機器が確認してください。
PIN Code NG :	PINコードが違います。	PINコードを確認してください。

仕様

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ) :
76.0 MHz ~ 90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N : 30 dB) :
9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB感度 :
15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (± 3.0 dB) : 30 Hz ~ 15 kHz
S/N比 : 70 dB (MONO)
選択度 (± 400 kHz) : 80 dB以上
ステレオセパレーション : 40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ) :
522 kHz ~ 1629 kHz (9 kHz)
感度 (S/N 20 dB) :
28 dB μ (25 μ V)

モニター部

画面サイズ (W x H) :
3型ワイド (65.52 x 36.84 mm)
表示方式 : 透過TN型
駆動方式 : TFT アクティブマトリクス
画素数 :
320 x 240 x RGB (H x V x RGB)
画素配列 : RGBデルタ配列
使用光源 (照明方式) : LED

USB I/F部

USB規格 : USB 2.0 (Full speed対応)
ファイルシステム : FAT16/32
最大供給電流 : DC 5 V \pm 1 A
D/Aコンバーター : 24 Bit
周波数特性 : 10-20 kHz (± 1 dB)
S/N比 : 110 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ : 93 dB
音声フォーマット : MP3/WMA/AAC/WAV
動画フォーマット : H.264/WMV/MPEG4

オーディオ部

最大出力 : 50 W \times 4
定格出力 : 30 W \times 4(4 Ω , 1kHz, 10%THD以下)
スピーカーインピーダンス : 4 ~ 8 Ω
プリアウトレベル (CD/CD-CH) :
2500 mV/10 k Ω
プリアウトインピーダンス : 600 Ω 以下
オーディオコントロール :
バンド1 62.5 Hz \pm 9 dB
バンド2 250 Hz \pm 9 dB
バンド3 1 kHz \pm 9 dB
バンド4 4 kHz \pm 9 dB
バンド5 16 kHz \pm 9 dB

iPodビデオ出力

動画 出力レベル (RCA jacks) :
1Vp-p / 75 Ω
音声 出力レベル (RCA jacks) :
1.2V / 10 k Ω

AUX入力

周波数特性 : 20 Hz ~ 20 kHz (± 1 dB)
入力最大電圧 : 1200 mV
入力インピーダンス : 10 k Ω

リアカメラ入力

入力レベル (RCA jack) :
1Vp-p / 75 Ω (NTSC)

電源部

電源電圧 : 14.4 V (11 ~ 16 V)
最大消費電流 : 10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D) :
178 \times 50 \times 158 mm
質量 (重さ) : 1.10 kg

付属部品

電源ハーネス：1本

トラスネジ(M5 × 6 mm)：4本

サラネジ(M5 × 7 mm)：4本

セムスネジ(M4 × 8 mm)：1本

リモコン：1個

iPod接続ケーブル：1本

パーキングセンサーワイヤー接続ケーブル：1本

リバースセンサーワイヤー接続ケーブル：1本

MEMO

- これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

用語集

AAC (エーエーシー)

正式名「Advanced Audio Coding」の略称で、デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法の、オーディオ部分のみの圧縮規格です。本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。

使用できるAAC収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとファイル**」(P.24) をご覧ください。

AVI

Microsoft Windows標準の動画ファイル形式です。

本書ではMPEG-4やH.264/MPEG-4 AVC形式で圧縮された動画ファイルを指します。

使用できるAVI収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとファイル**」(P.24) をご覧ください。

KSF (ケイエスエフ)

外部接続された別売品のHDX-710などのハードディスクに記録されている音楽ファイルです。

LX BUS TVモニター (エルエックスバステレビモニター)

外部接続された別売品のテレビモニターやナビゲーションシステム (HDX-710など) です。

MPEG-4 / H.264/MPEG-4 AVC

正式名「Moving Picture Experts Group phase 4」の略称で、動画や音声の圧縮方式の一つです。iPodをはじめとするモバイル機器、携帯電話などで利用されています。

H.264/MPEG-4 AVCはMPEG-4の規格の一つで、少ないデータでクオリティの高い動画を作成するための圧縮規格です。

MP3 (エムピースリー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称で、DVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法の、オーディオ部分のみの圧縮規格です。本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。

使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとファイル**」(P.24) をご覧ください。

WAV

Microsoft Windows標準の音声ファイル形式で、音声信号をデジタルデータに変換したものを記録するためのフォーマットです。

本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。

使用できるWAV収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとファイル**」(P.24) をご覧ください。

WMA (Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。

本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。

使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとファイル**」(P.24) をご覧ください。

WMV (Windows Media™ Video)

米国マイクロソフト社が開発した動画圧縮符号化方式「Windows Media™ Video」の略称です。

本書では主に、この方式を使用した動画ファイルを指します。

使用できるWMV収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとファイル**」(P.24) をご覧ください。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー (KDC-C520、KDC-C469など) やマルチメディアプレーヤー (VD-C77) です。

商標について

- Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。
- The “AAC” logo is a trademark of Dolby Laboratories.
- iTunes is a trademark of Apple Inc.
- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(P.101)を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。(「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

● 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。(本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)

● 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

● 技術料: 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

● 部品代: 修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご遠慮なくお問い合わせください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

ケンウッド 全国サービス網

アフターサービスについてのお申し込みは、購入店かお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

北海道		
札幌サービスセンター	☎004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29 ☎(011) 807-3003
東北		
仙台サービスセンター	☎984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13 ☎(022) 287-0151
関東・信越		
さいたまサービスセンター	☎331-0812	さいたま市北区宮原町1-202 ☎(048) 778-8714
千葉サービスセンター	☎277-0863	柏市豊四季512-10-67 ☎(04) 7171-3800
横浜サービスセンター	☎226-8525	横浜市緑区白山1-16-2 ☎(045) 939-6242
八王子サービスセンター	☎192-8525	東京都八王子市石川町2967-3 ☎(042) 646-6914
新潟サービスセンター	☎950-0913	新潟市中央区鏡1-5-23 ☎(025) 245-2177
大田サービスセンター	☎146-0082	大田区池上2-8-10 プラムビル1F (修理持込専用窓口) 電話でのお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンター（裏表紙をご覧ください）にて承ります。
中部・甲州		
名古屋サービスセンター	☎481-0041	北名古屋市長九之坪鶴田121-1 ☎(0568) 24-1644
静岡サービスセンター	☎420-0816	静岡市葵区菅谷5-61-1 ☎(054) 262-8700
金沢サービスセンター	☎921-8062	金沢市新保本4-65-17 ☎(076) 269-2935
近畿・四国		
大阪サービスセンター	☎532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28 ☎(06) 6390-8005
高松サービスセンター	☎761-8057	高松市田村町205-1 ☎(087) 802-6055
中国		
広島サービスセンター	☎730-0825	広島市中区光南3-9-17 ☎(082) 241-0023
九州		
福岡サービスセンター	☎812-0031	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F ☎(092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	☎891-0114	鹿児島市小松原1-5-17 ☎(099) 268-0030
沖縄サービスセンター	☎901-2224	宜野湾市真志喜1-11-12 コモンズビル1F ☎(098) 898-3631

サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間 10:00～18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）
（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）



このシンボルマークはケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
フリーダイヤル 0120-2727-87
(発信者番号が非通知の場合は「0120」の前に「186」をつけてからおかけください)
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950
045-450-2308
- FAX 045-450-2308
- 住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
- 受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00
土曜 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)
- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンターにご相談ください。
- カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録 (My-Kenwood) をお願いしています。
弊社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。
<http://jp.my-kenwood.com>